

現今支那事情

292.2
K344g

026491-001-9

292.2-Ka344g

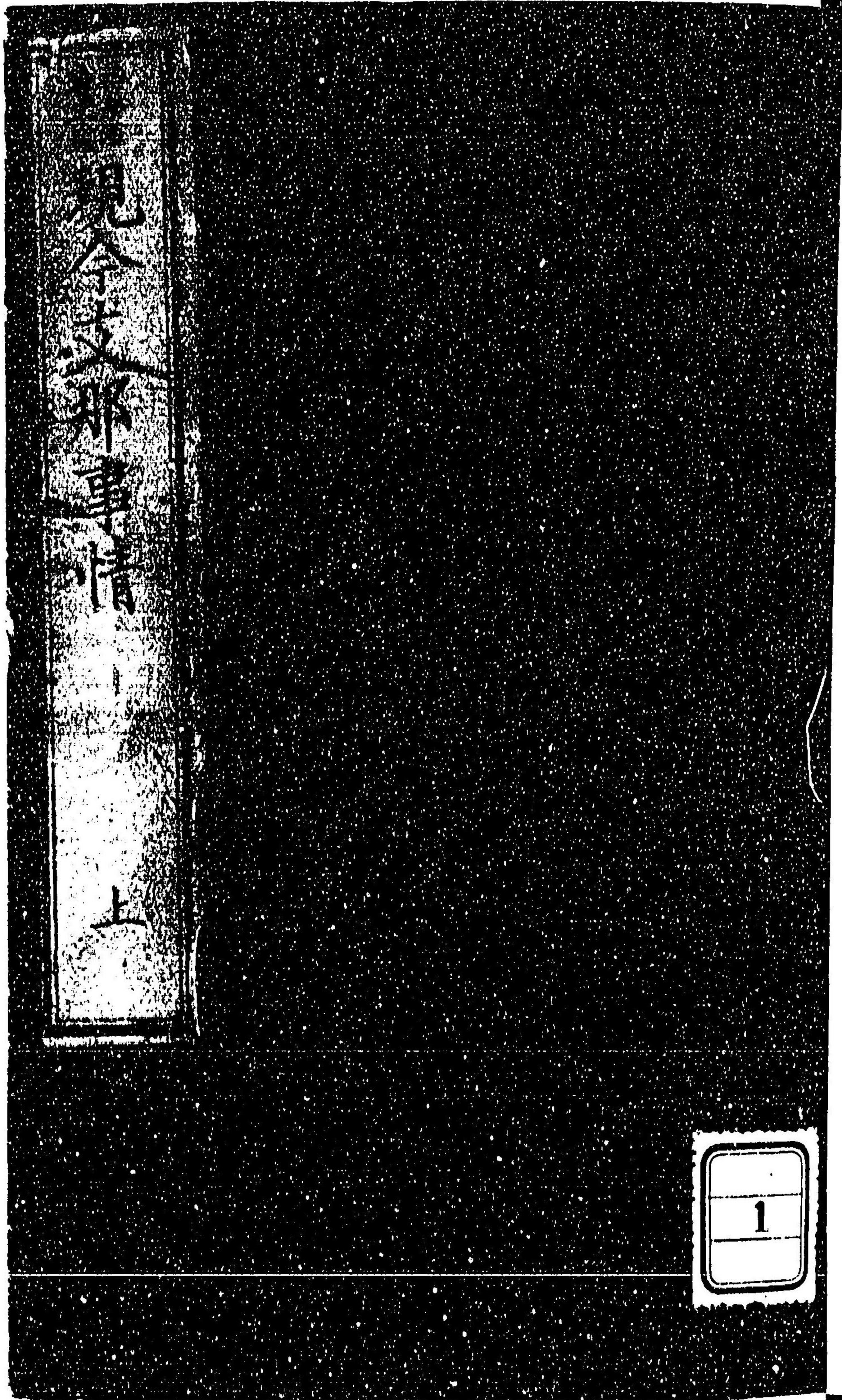
現今支那事情

坂名垣 魯文(神奈垣) / 編

和1冊(上38丁)
M8

ADD-0151





凡人小事集

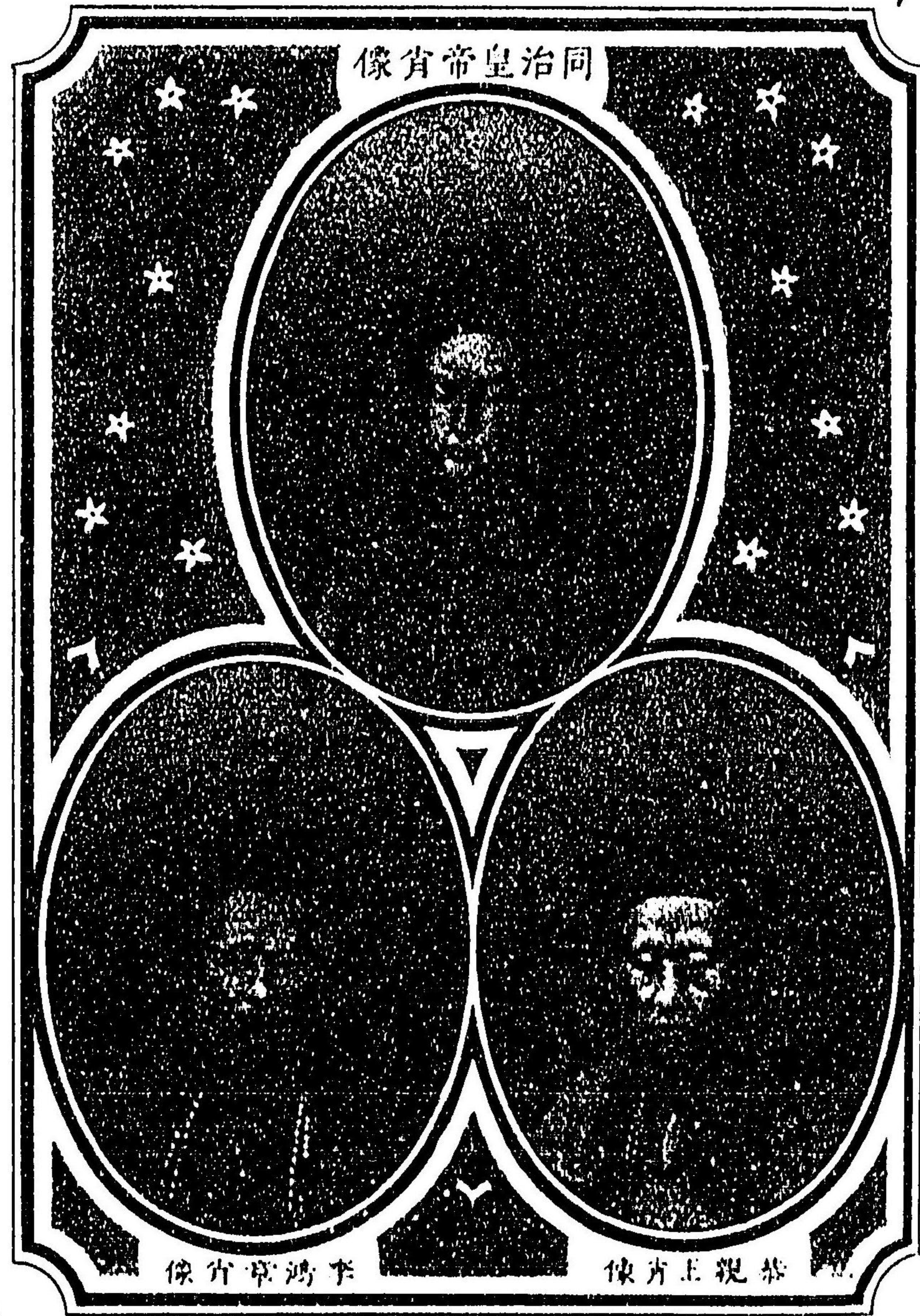
1

神奈垣魯文編纂

現今支那事情

明治八年
乙亥二月

櫻楓舎藏版



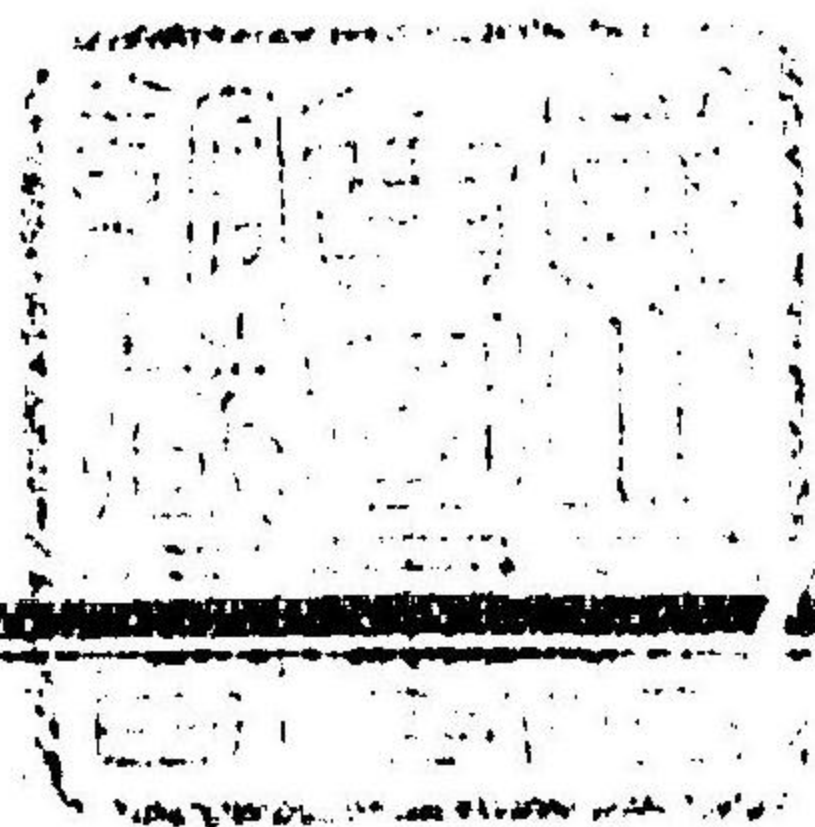
同治皇帝肖像

李鴻章肖像

恭親王肖像

郵政總局製

292,2
Ka344g



大臣

彭
眞



後
那
事
清

卷
之
上

80528

貴婦人



將軍



兵卒



同



支那軍情

卷之二

二

三 列 身 作 美 々 上

豪家婦



平民婦



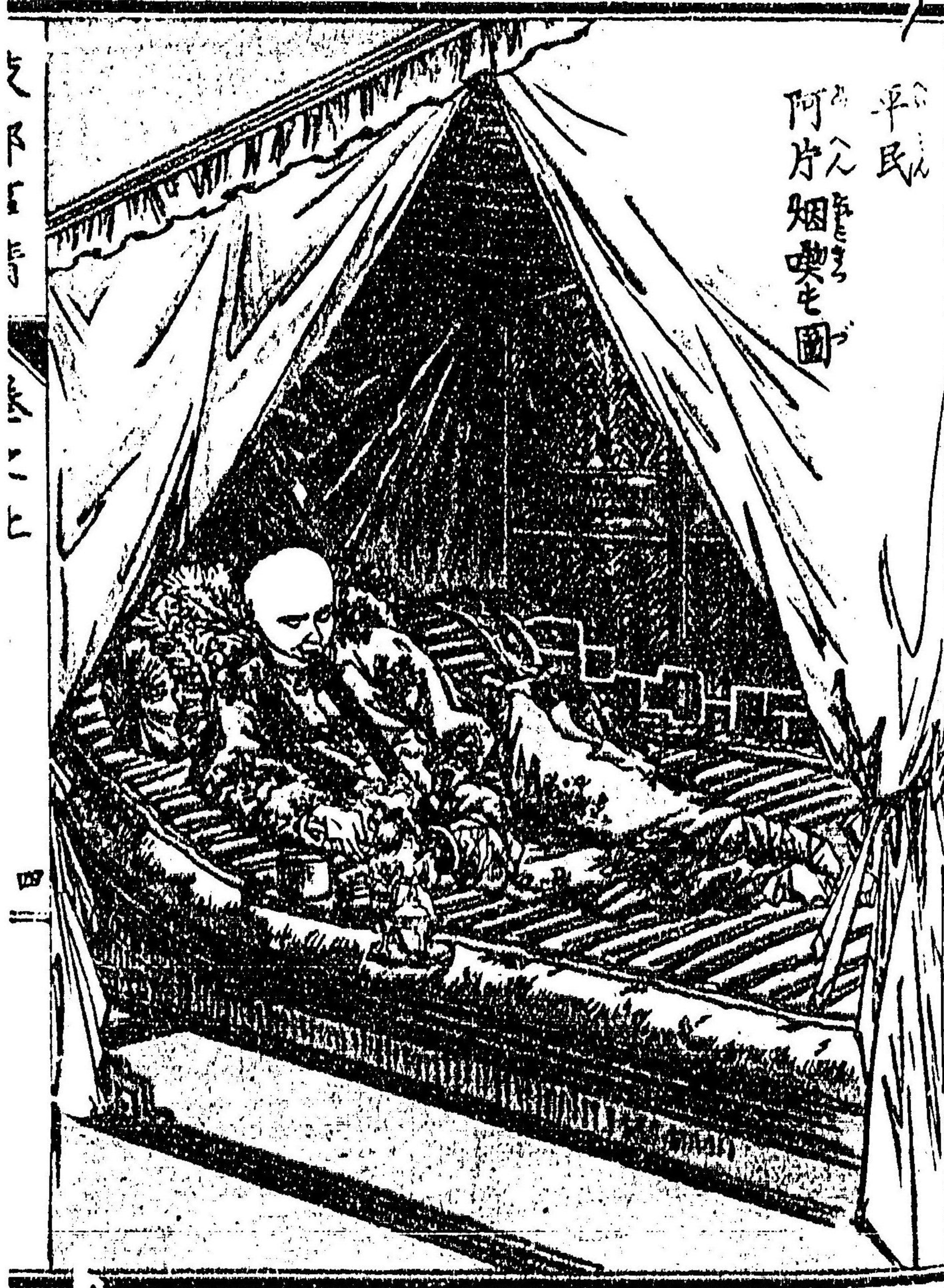
商人



農民



大 下 百 部

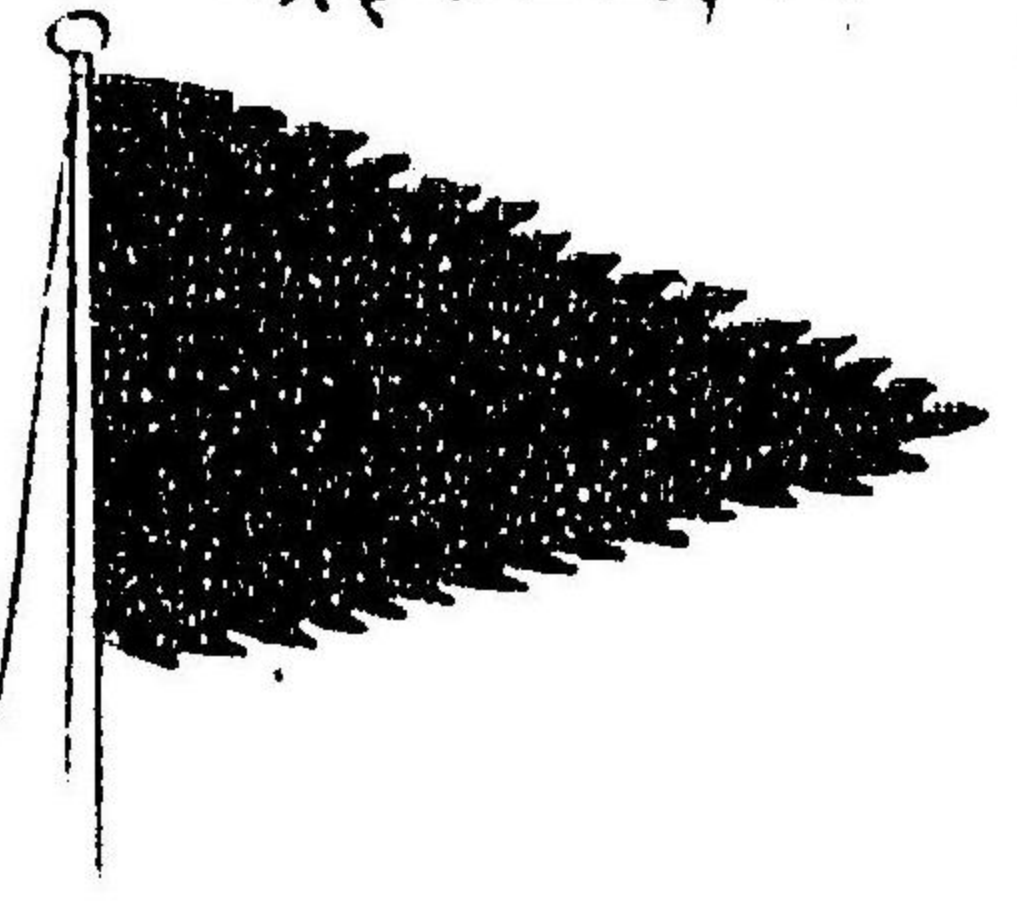


支那事情
卷之十

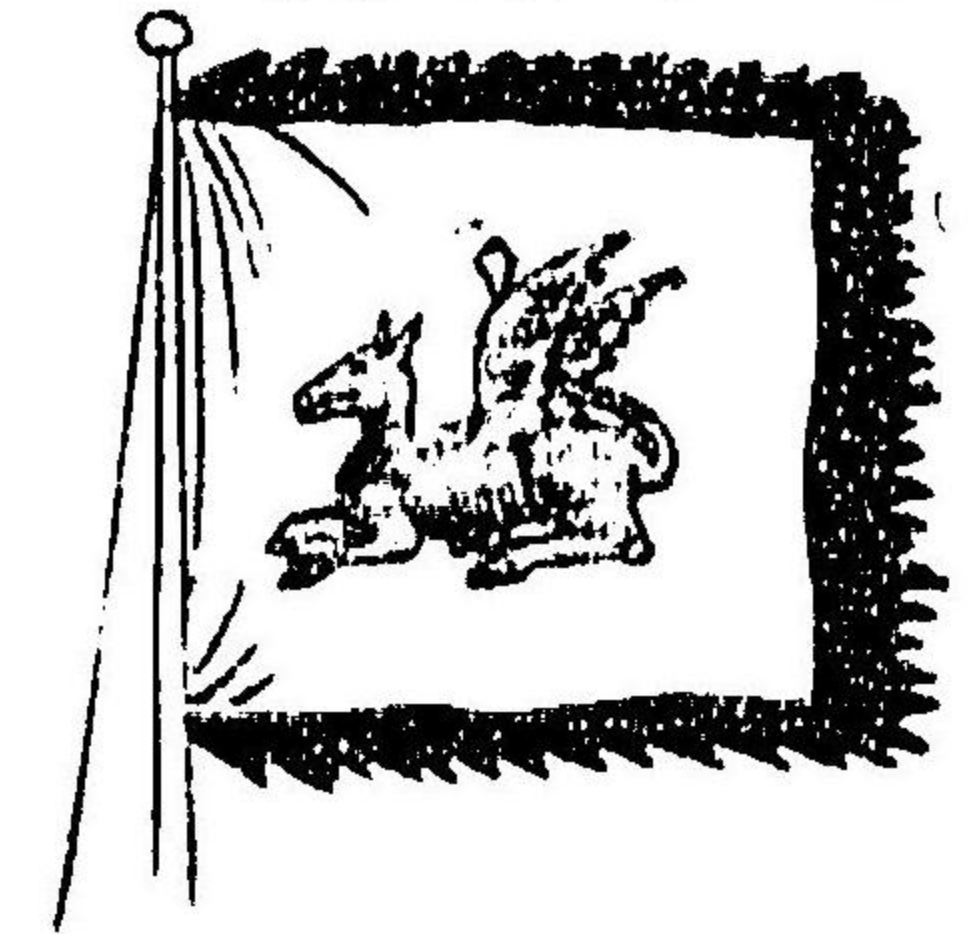
支那事情
卷之十

支那國軍艦及商船旗章

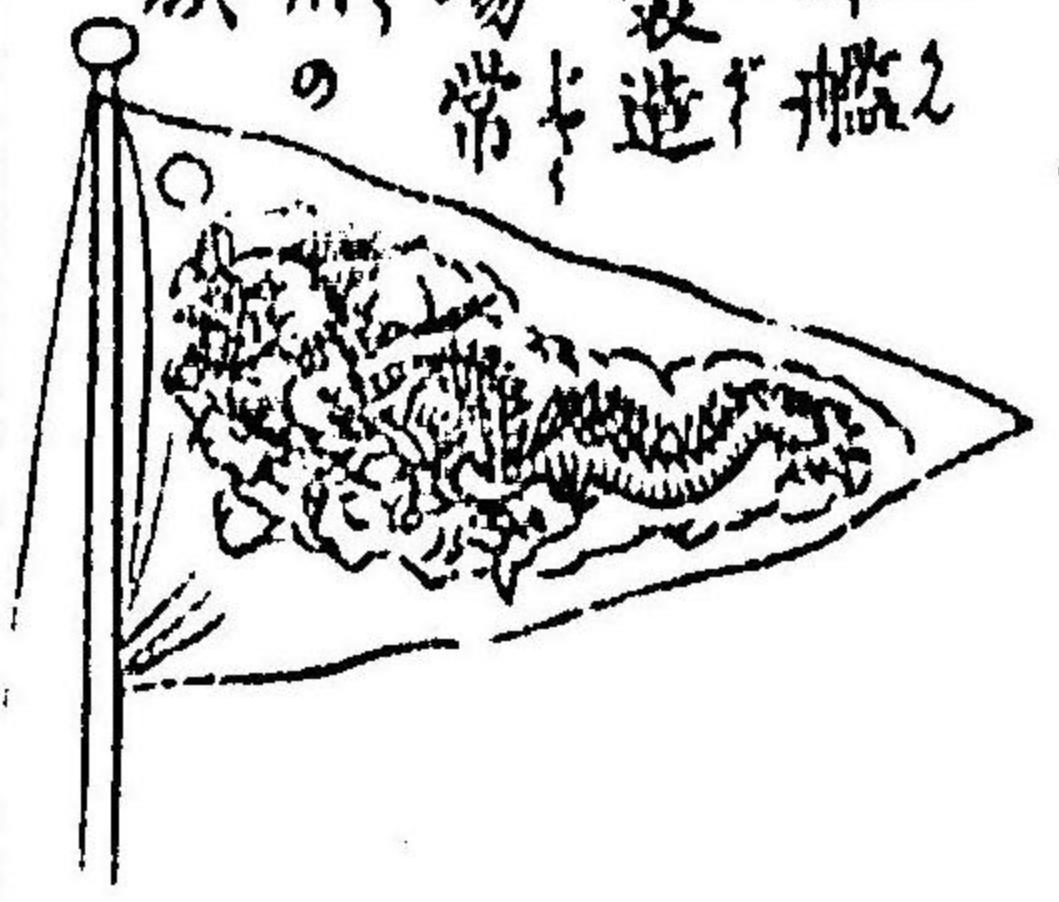
同商船旗



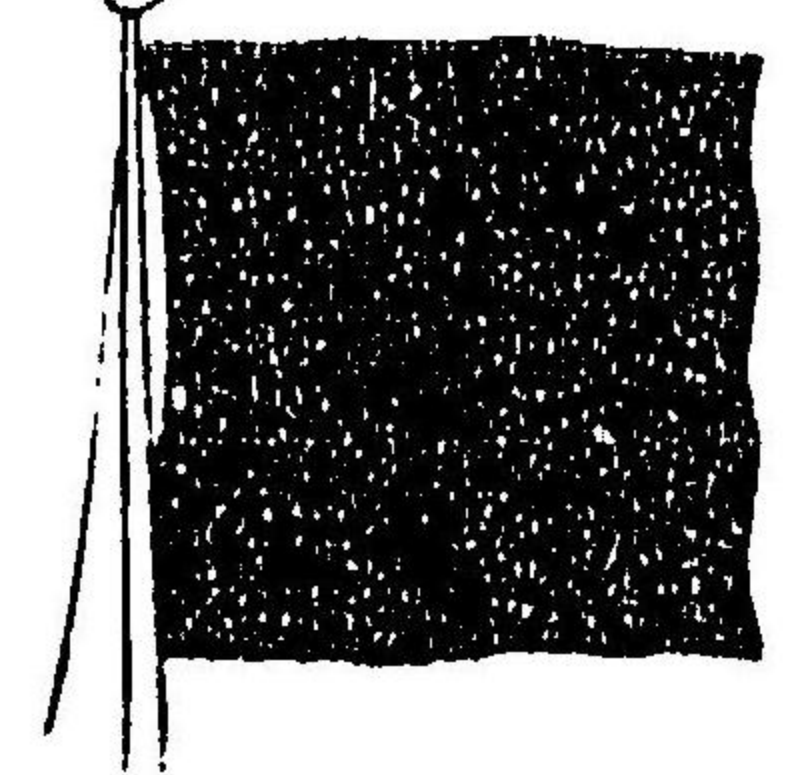
支那國旗



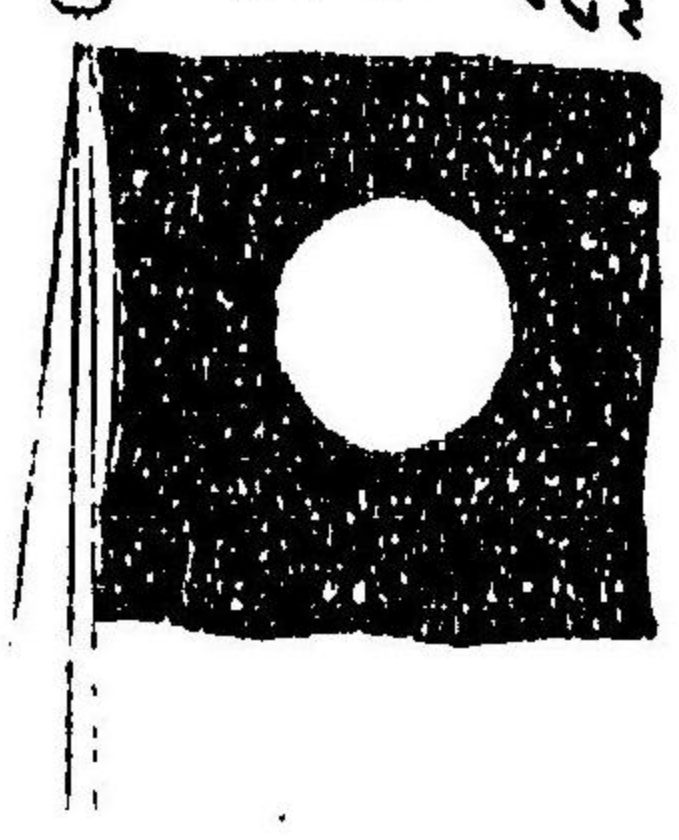
軍艦製造場常用旗



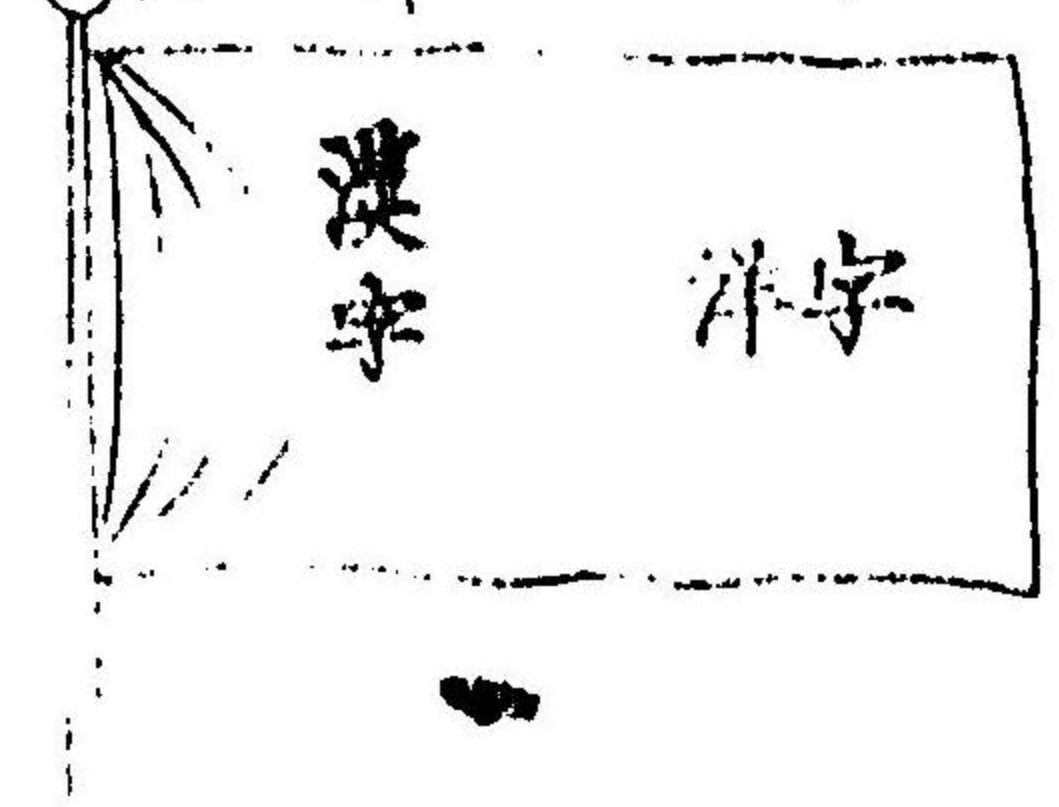
造船場常用旗



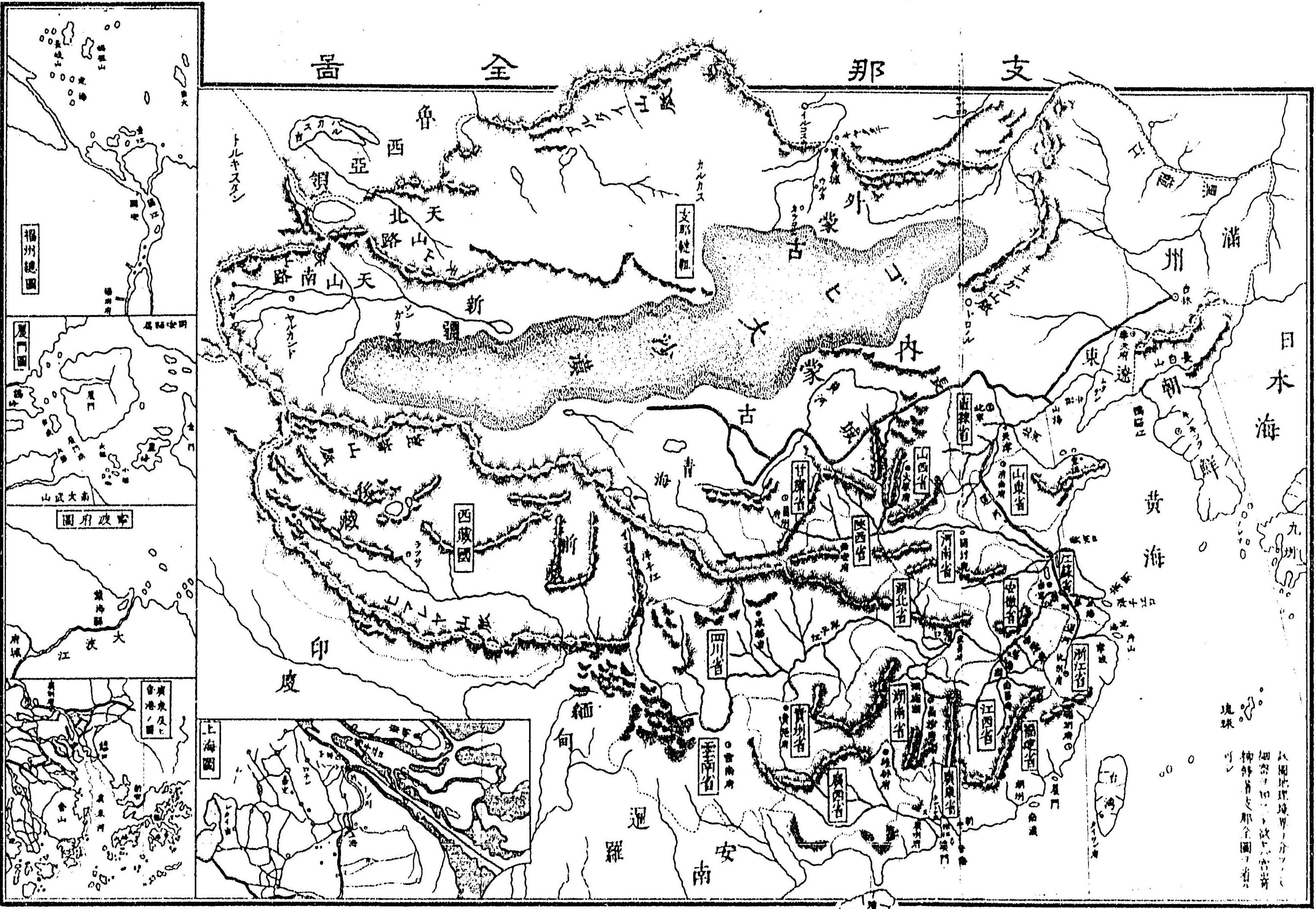
運河局常用旗



海軍捕盜旗



支那全圖



本圖地理境界ノ分ツルニ
細密ナルニテ故ニ各省
紳士及支那全圖ヲ看
可シ

緒言

○支那ハ我邦接近の地と雖も原來鎖國の弊風ありきを以て貿易互市の今日小際も猶依然として他小内地の通行を許さざれば是以て我々俗彼の二京十八省の景状其詳細を得る缺ハ是偶舊圖小因り僅小位置幅員を辨知せざるも滿清の輿圖小至つてハ茫乎として知る無一能清人の書を讀者と雖も地理又精しうと況哉小民小於るを是此俗書と編輯するの謂ふして即今彼と事故既小和議多小臨

支那事情

我小民の爲に略を示すの意表ふるの
各省の下京師を去る何千何百何十里と記
るが如き皆以て支那里程にして原文の儘引
用せり然も共間々本邦の里數小總算する者
ふきぬりもあはば乍ハ更に日本里數云々と
添詞を置りり一讀倉卒の際看者混淆する勿

○該編休業日曜日或ハ夜間燈下小屬一諸圖說
中より鈔録する者重措ざるを以て漫小刊行
の念を生じ之を愚説を添附して世に流布せ

んとする者ともせり其間消光一週日小過ぎ
るをりて誤脱毎丁抄りとせり然るも校訂細
密ありんと欲せば其時好小後人を懼れ敢て
世の嗤笑を懸念せり是將際物の貴止を得ざ
る不出け萬一具取ふ觸るあはば識者の卓見
を以て宜く度外小措て問ざれ

横濱漁民

神奈垣魯文操紙

皇和紀元二千五百三十四年第十二月

書中

支那の

一 テールハ

我壹圓五十六錢

一 里ハ

我凡六丁

英の

一 インチ

我八分三厘六毛餘

一 ヤルド

我三尺餘

一 フート

我一尺餘

一 里

我十六丁半廿六間餘

支那事情目錄

卷之上

國體風俗

支那の字義
宗吉の奉信

人民の狀態
文武の階級

軍務兵制

八旗の給俸

帝業政事

萬里長城

地理總說

十八省 直隸省

大沽壘砦
天津景況
歷代帝都
朱竹林

山東省 江蘇省

黃河
洋子江
上海景況

浙江省 奉天

鎮江

南京

上海景況

廣東省

奉天

鎮江

南京

上海景況

河南省 安徽省 江西省 九江

湖南省 湖北省 漢口 貴州省

廣西省 甘肅省 四川省 雲南省

卷之下

近來擾亂

阿片烟爭亂

廣東爭亂

千八百四十八年亂

同五十三年亂

同五十七年亂

同五十九年亂

同六十年亂

長毛賊亂

支那事情目録終

現今支那事情卷之上

橫濱 神奈垣魯文鈔輯

國體風俗

支那ハ從來の本部二京十八省及び現今塞外の地方長城以て東北西南の地方を合せて其版圖を屬する所を總括する小亞細亞大洲三分の一を領し歐羅巴全洲の一倍半を保ち地球中魯西亞小次ぐの大國あり然も人口ハ猶之小二倍一大大九四億零四百六十万或ハ五億三十其境界北ハ

西比利亞不接—東南ハ日本海支那海不廣—南
 ハ印度海西ハ獨立鞏固トイタルベリアン不境
 其表面九十萬零五千四百八十方里あり其國
 の如き國帝の革命每ハ必ズ改稱あり所謂夏殷
 周秦漢蜀魏晉齊梁陳隋唐宋宗金元明清現今國
 清ト皆以て國字たり其字義の因て來る所帝祖
 故里の地名を以て號ケ或ハ述來善字を選ビ
 當代の國號とせし間々あり國人自誇して中
 華中夏中國或ハ神州多と稱セリ其中と稱スル
 ハ坤輿中心ノ國と云る義ホ一て我國ハてハ

ロコシと訓ト義越リ又漢土唐國唐山唐土
 書セリ且カラと訓ミるハ我彼の義ホれハ都て
 彼國ノ諸外國の轉語あれども隣國接近の地
 を以て支那を指て多くカラと呼ビ來れる者
 然れ共目今ハ支那と呼ベリ村大野大牧童ノ支
 地方ノ者船來多クナリ以テナリ
 支那の字義山村昌永の説と安積良齋の文略
 とを纂輯せり不彼の土西洋人呼でレナ又チ
 ナと云ふ舊譯支那又震且ホ作る是印度の佛
 法を翻譯して書不出イ即チ唐土より西方

の諸國古來稱する所あり華嚴音義小云く支
那此不思惟と云ふ此國人思惟計作する所
きを以て故小之を名とまると又艾氏國説小曰
其大西洋を距る路幾九万間爾未始相通せ
但し海外傳聞之を尊稱して大知約とぞ知約
ハ亦是シノの音譯ありと又再按ホヨハンニ
一ウホウ人前所著の奉使支那行程記小曰此國
と支那と稱することハ昔歐羅巴中興革命の
時より二百五十年前此國中一の國任レン一
名ナンある者此國を一統して之を治め其域

德隆盛ふして他の諸鄰國小振へり故小印度
小之を傳聞し此國を呼マシナと云ふ其後此
國小於て歴世沿革ある毎小其國號を改新
と雖も印度及び我歐羅巴諸國小於てハ今小
至マシナと云ふと云々總て地名等の語尾小
アの音を添ふハ西國の語法あれハ泰の音シ
ンの尻小アの音を加へてレンア則ちシナと
ありし成らん佛蘭西小てハシノアと呼び荷
蘭小てハチナイナと云ハ英吉利小てハチマイ
ナと云ふも原同音小して其國々の訛り小依

支那通考

リ少一づの變りありあらん但一魯西亞
てケタイスケと號するハ契丹と云ふ轉語
る欽然レバシナ又チナと云者ハ秦の始皇の
名高きより出て秦の音の轉訛あること明瞭
ふして我邦今於て此國を漢又唐と書一稱
まゝの類ひあり蓋一華嚴音義不謂ふ所の如
きの佛法此國ハ入て後ハ此國の佛者附會を
るの説あらん一ハ震旦と云ふもシナの訛語
と知られたり又或人支那字義ハ云予曾て一
老僧ハ聞一ことあり支那ハ梵語ハて文華或

ハ文國とも云ふ可き義あり蓋一談ハ文
物風ハ開け其開化浴く四隣ハ波及せしより
印土人も之を文華の國則ち支那と呼びし
らん因て案むるハ彼の「デガマ」ハ喜望峰を廻
り印度ハ往來する數百里其土人の談話ハ此
東北ハ當り支那と云ふ大國ありと聞き及び
るも亦久しかり可一是支那の名の歐土ハ
傳りたりたる權輿あらん欽と此説前の華嚴音
義の等類と云ふ可一
人種ハ蒙古種ハして身軀長大あらず其面平廣

支那軍情 卷之七 四

鼻低くして頬骨秀で肌膚黄土色を帯ぶ氣質
 温和にして善く勞ふ堪ゆ漢北鞑鞴の人種ハ風
 俗氣象地方ハ從ひ各々小異有リ然れ共素皆同
 種の者トモ男子ハ貴賤となく皆頭髮を剃去し
 頂上ハ少許遺して辮髮ノ頭ノ毛ハニテカ背後
 ハ垂れ貴き者ハ爪を蓄へ寸餘ノ長さハ至ら志
 ム女子ハ足ノ小あを貴と少きハ之を棄
 著て大あしハゆむ其形ハ馬の蹄ハ似て殆ど歩
 行も可くトモ
 國民ハ耕作蠶桑販賣漁樵の業を勉め珠玉文筆

を貴重し講習して志ハ且風俗古ハリ禮讓
 を重むと雖も數十年來君主專治の苛政ハ甚
 民情一般ハ詭詐狡黠ハ一て頑固の俗を以て刑
 法酷烈なれども罪人隨つて多く又古ハを貴
 今を賤と自ら尊大にして外國を蔑視侮謔の弊
 習あり

國帝を天子と稱し政府の主宰として其權際涯
 なく政令法度皆民と咨謀して之を獨斷特裁
 せりニと我國維新前舊幕府政の如く其下百官
 を備具四名の大員内二人ハ用ナニ滿及び四十餘名

の参政官ありて諸務を分司し又貴重の學士ありて政令當否を監察せり
國內の兵備ハ糧糶地方の屯兵を除くの外總數九八十五万九千ありて之を四部ハ大別して其
中滿州人及び蒙古人の隊を以て精兵と定其他
海軍河軍等許多ありて兵制器械船艦等項選
然と覺る所ありて固有の舊法を措て歐羅巴諸
國ハ之を購求ふ者ありと
全國の噸額大半米穀を用ふと雖も之を貨幣と
して算まざる時ハ一歳の總數三億零九百二十七

萬弗下少

此州ハてハ五穀殊小米を其性命とふを以て田圃の制度甚と嚴密あり故ハ是を區分せると亦甚と精微あり大約農民ハ其實の十分一を官家ハ上納せんと云ふ若之を納れざる者あれば村吏其農民を放逐せ若其歲時令不順ハして禾苗小蝗蟲を生じ枝葉を侵蝕し其地方之ガ為ハ飢饉ハ及ぶ豫の事あれば法度ありて是を年々貯へ置たる穀庫を開きて其飢死を救む來秋米實の升を待てしむ然れ

ども縣令村吏常小私慾多くて竊ふ其較庫
 を開て已れの産とあし其金ふて高官を得る
 者多し斯の如き習俗や名秋較實らざる時ハ
 農民大ニ擾亂を起し他縣不至りて人家を掠
 略する者多し邦人之を流賊と云ふ
 邦人奉信する宗旨多くハ佛教あり其神として
 貴ぶ像を見るハ頭ハ美女にして下體ハ蟒蛇或
 ハ首ハ常人ハ似て其腹肚鼓脹宛ハ水腫病の如
 く或ハ其頭太ど長大ハして下體ハ常人の如き
 もあり其甚しきハ巫りて神像ハ龍蛇を合體と

其其他異像枚舉不可し邦人斯の如き殘廢
 の醜體と寺院の中央ハ列置して敬信すること
 印度人ハ殊あることあり

喇嘛教ハ西藏國の神あり一菩薩一軀三頭醜
 態見ると堪へざ然る又此菩薩能く男女の大
 倫を守護せるとして世間多少の石婦盡く之れ
 又析念を掛け以て嬰兒を胎内ニ宿さんてを
 請ひ來詣するの殆んど虚日多と云
 回々教ハ亦北京城内ニ於て甚ど盛あり其之
 を信するもの蓋し賤民ニ非らむ其禮拜堂の

數喇嘛教のものに比すれば稍減少すと雖城内に在るを以て榮譽とせり已に支那帝も亦此門徒とありしと
諸此門徒議定は於て右手を前面に推し出さ
を以て常と爲萬一此事を速と爲さんと爲
時ハ獨り大指を立てて以て其門徒多るを通
ざる也然れども土人若し其誠實あるとを他
人ニ示さんと爲る時亦此暗號を用也と云又
其暗號は先づ天を指し次は地を指し次は其
胸部を指し最後は天を指し次は地を指し次は其
胸部を指し最後は天を指し次は地を指し次は其

為るあり蓋し天地を指して其心中偽なく正
直信義あるを誓ふの義あり官嘗て布告して
曰く此暗號ハ古より我國に於て其正直信義
を互に通ずる時之れを用たり即ち規矩會是
あり
支那人ハ此國を行りて呵の三教即ち儒教
道教佛教の内必も其一教を奉せざるべ
以而して各教の人互に京城の内外に在る呵
の是等の殿堂に参詣し幾んど相隔らず但し
右の如きを以て人々の必意確然として適歸

さうと云ふ甚混亂を免かれ考概は人々各教
を連て奉信を試し見よ凡そ孔子の道も
脩むものも雖亦佛陀を奉ず呵の木偶石
像を禮拜し又香を焚き又花を供え又田夫水
手の如きに至りては其職業を守護する所醜態
悪む可きの偶像之日夜怠り多く經文を念を
うも又更に孔子の神牌を拜し其心意の一
は帰せざるを實に疑ふ可し
此説歐羅巴人躬自ら其理不到り其人物を評
するの譯み出づ可き我我邦の愚俗古く印

度の野教を傳へ深く賣僧の妄語も溺し進歩
の當世も於るも依然として猶偶像異體を奉
信するも其支那頑民も比た可き者なり宇賀神
頭首人面ニル者聖天頭首二箇合シテ人無
下界小地ナル者冥福を祈るも寒水も沐浴し
スナを崇敬して冥福を祈るも寒水も沐浴し
斷食數日及ぶ者あり令四支那と和議あり
若成らざれば本國人民振つて彼も捷んと欲
るの剛氣何ぞ浮屠氏の弱説も固着し天賦の
自國神靈を祀るや乞ふ我衆庶該説も因て偶
像異體の信あふざるを證し悉皆廢棄せんこ

しを嗚呼支那の住古其鬼かあふて是を
 祀るハ深く世教ハ誠ある所あるをや
 國制文を上と一武を下とせり武官ハ高位
 の人と雖杖歩するあり然るも文官ハ至りてハ
 中等以上四人小一て擡ふ輿ハ乘らざれば大む
 小耻辱の車とせり蓋一在官の者ありざれば肩
 輿を許さざると雖乘馬ハ一般の準許あり
 文武位階の區別外見する所明瞭あり唯圓錐
 狀の帽子の尖ハ附たる球の色を以て僅ハ區分
 せ可きのミ其色ハ赤淡碧濃碧水晶白石黃金等

あり之を九品階小かつ小九色を以てす又帽尖
 球を添ふる者ハ禮服ハ鳥類其他の形狀をふす
 繡帛を領より垂れて胸背を掩ふ者を故て又某
 上ハ大なる珠數の如き者を胸部ハ懸く是の如
 き外飾も亦大金ハ購ふべし故ハ之を以て一概
 小其人の位階を表すハ不足らざるあり假令尚
 買と雖出金するも其ハ碧珠を冠るの許可あり
 其事ハ臨してハ毫も碧珠の力を籍る能ハ電官
 府の待遇無球の平民と異ることありと云
 全國縣令の數凡一万四千八百ありと云へり其縣

令たり者必は他の縣下の人あり可く又其治下の人民と交通朋黨を防ぐんが為縣治の期限ありて永く一地を治りしめば又其親籍子弟を同縣治の下に奉職せざるを許さば三年に一度完一
道總督の大官制其管下の縣令及び諸司の姓名簿を銘々の行狀人物書を添へ自ら齎して内閣に到り大臣に上申す此に於て大に照陟あり又貴官の治績を督檢せざるが為特命を受たる大官諸方を巡行せざるあり若管下小土寇騷亂等起るあれば其縣令必ず譴責を免らざる能はば

軍務兵制

支那の軍士盡く北京兵部の所轄たり而して政府の依頼せる將士兵卒の皆健壯人あり故に親人を以て親兵とふし之を精兵と稱す所謂滿州兵ある者あり蓋し兵制を八旗に分ち其軍旗は黄白赤碧を用ひ其線は四色の他の色を以て圍むたり一旅の軍士各一万人總て八万の兵卒の政府之に依て其國家の保護を充る所にして又別十八省毎に健兵を配置せり支那本國兵士の軍旗は綠色を用ふ尚地方小民兵を備へた

支那軍制 十二

う然れ共斯民兵の如きハ盡く不練未熟の群徒
 不して軍装最も襁褓を纏ひ外見堪や可うらざ
 る者不似たり抑支那近時の兵卒ハ軍車不疎く
 勝力乏しく且支那人の性質微弱不して奮勇の
 激發よく彼の精兵と稱する韃靼人も漸々恭平
 不安居して往日勇猛の念稍く消滅し支那快馬
 の風俗も深き目今不到りてハ殆ど支那本國の
 人と伯仲する不到れり
 支那軍卒の名を以給俸を受る者八十五万人不
 下らば之を區分すれば韃兵六百七十八隊蒙古

兵二百十一隊支那本國及び民兵を併せて一万
 二千人あり又韃兵と支那本國兵との俸給一
 様ありは韃兵ハ步兵と雖飲食を給する上月
 毎ニテール六錢一円六十を與へ一日我十錢餘不
 當る不支那本國の兵卒ハ唯月給一テール六分
 を與へ一日纔ハ我九錢不足らざる内より自々
 ら飲食をせり斯奉給ハ差異あること原來韃
 人の遠く郷里を離れて内地ふ來りて常備兵と
 あり他ハ營業の術あり支那本國人ハ練兵時期
 の外ハ自己勝手業を營之利を得可き不あり

政府の信任する所自國ニツタふありて支那本
國の人民不あり故不斯く自國人を恩惠し支
那人を賤するの所置をあやむるあり
兵卒ハ上ハ碧地ハ赤縁を取り或ハ赤地ハ白縁
を取りたりヤケツトを被て下ハ碧袴を穿ち
頭ハ着色の藤或ハ竹を以て製りたる圓錐狀の
帽を戴き其帽形ハ打撲を禦く不適へり然共
兵卒ハして文官の帽其球を備へざる者を冠る
者あり又羽毛綿等を包入たる夜被り如き長衣
を釦子ハある軍裝の兵卒もあり其冑ハ鉄を

以て漏子形ハ製し其頂ハ球あり此球ハ繭糸或
ハ馬尾一把を纏着たり又騎兵の重器ハ弓矢ハ
弓ハ彈力強き木ハ角を雜へて製し弦ハ繭糸
を善く紡拵て製し弓力を量るの法ハ弓を曲む
力の多少ハ由て定む其力ハ九貫六百目より十
四貫三百目位まで至るを度とし其刀劔ハ鐵
ハして利あり國人其在來の火繩銃ハ其利弓
矢ハ尖れるを唱ふ蓋し外見製造共ハ武より比
疎あるを以てあり又藤を螺旋て製したる楯を
荷ふ者あり

支那ハ原來火藥製造の祖にして發明最も古
く諸州ハ先駈て其方法を解し得たるも大砲
を用ゆるハ至りてハ近代キ曾て知らざる
所あり明朝天啓元年我元和西洋十六年澳門嶋
ハ在る葡萄牙人より砲兵と共に三門の大砲
を求め以て鞏人を禦ぐにめたることあり爾
後十七年を経て明の崇禎九年我永滿州兵
の為ハ苦めらるる時明人其國內ハ在る耶蘇
宗人種ハ乞ふて大砲を製造せしめたり又フ
エルシナンドエルビスト我宗ノ一人ハ千六

百年代ノ末ハ於て清朝康熙帝の為ハ數百の
大砲を製造せしめたりと云
大將ハ之をシンクン即大將と稱ハ一レンクン
廣東省ハ在り常備兵の將とり此職ハ陞る者ハ
必以鞏人ハして支那本國の人シンクンたるを
得べ但し其次官ハ本國人も到ることを得る者
あり其下ハ屬する將士ハ膂力あり弓術ハ巧
ハ土寇を平げ軍功ありたる者上位ハ在ること
を得可きあり
支那の制度然て出る所最負偏頗の所置のこ

帝業政事

而て公平ありて人心の進まざる復惟ふ可
 皇帝の位ハ必に血統の男子を選きて其後を受
 嗣しむ但し其太子と定むる者ハ生年の前後ハ
 探のこみありて又關州兵馬生殺の權ハ皆皇帝
 の掌握中あり帝行ハ皇天不則りて幾微も備
 侍のこふと云へり然れども其行幸のこは
 路傍不在之ハ敬跪匍伏せざる者ハ皆捕へて
 死刑不處し少も假借愛憐せざることふし是亞細
 亞人の殺代ある通弊あり

我邦舊慕執政の時大樹偶々野狩道邊を催さ
 ることあり之を御成と稱し鹵簿關扉を鎖し
 行街戸門を閉て數時往復を許さず戸前之を
 拜せざる者低頭平身過りて垣間見或ハ起身歩
 行せざる者あり不到てハ忽地捕縛して嚴科不
 處し又ハ平民歎願の事件ありて大樹の轎子
 不接し其身邊不昵し訟書を奉呈せざる者ハ磔
 刑不行ふの例近古下總州佐倉の農民惣五郎
 の嚴罰を以て亞細亞通弊の慘政と看る不足
 れり

支那帝常不闔州の禮樂刑伐を己れが隨意不行
ひ其大臣宰相と雖も意應不適ハざらど死ハ直
不獄不下一或ハ死不處さるること歩卒蒼生不殊
ふるごとふ一然れども時としてハ其大臣十人
餘を選きて闔州の政令及び外國へ通信等のこ
とを掌握せしむることあり
政令制度一種の亜細亞風にして一定の規度
ありことありと雖も間々其祖先堯舜の遺法
不則り又孔聖の謨訓不本据一種適宜の政度
をあたあり但し兵馬生殺の權皆皇帝の掌握

中ふありて決して是を其臣下の委任せざと
雖も方今の帝の如き幼冲あり於宰相大
臣の保輔も又無可く近世加ふる不歐
羅巴の學風を修め彼の教法を容るるを要
支那も又昔日の支那ふありせんハ輕侮忽略
不者做を可くさ

地理總説

支那の全く本部とすり所ハ北西と蒙古の塚と
萬里長城を限り西南と西藏緬甸暹羅安南と
塚一又東南東北と海濱に至る迄の間あり是則

ち古來より中華と稱せし所にして充辭以來歴
 代の帝王皆茲に於て興廢存亡せし者あり
 萬里の長城を往古秦の始皇韃靼地方の敵國
 に入り侵入を防ぐが為は絶大の土功を起し造
 築せし所にして其東は遼東山海關の海濱よ
 り起り西は嘉峪關は連し長さ五百十數里
 連亘し其間山川を横断して高さの直立五十
 丈の山頂は連し或は下て深谷を亘り城壁の
 高さ二丈五尺厚さ一丈五尺其外面は皆四角
 煉石煉土を以て充辭す上は
 又壁中弓形の穴道及
 び小門等を設け長さ長
 六十間毎に堡塞を備城
 へ要害の地を塞壁をの
 二重或は三重を築造す
 ず實に二千餘年前の
 遺物と雖も現今尚
 壊敗すに至らば依

土を以て充辭す上は
 又壁中弓形の穴道及
 び小門等を設け長さ長
 六十間毎に堡塞を備城
 へ要害の地を塞壁をの
 二重或は三重を築造す
 ず實に二千餘年前の
 遺物と雖も現今尚
 壊敗すに至らば依



支那書
 卷之七

然として存せり
 今此本部の土地を十八省に分て一省毎に省城
 を置き以て之を屬せり。多くの府城を管轄せし
 む府の下に多く縣ありて段々政治を施せし
 り先其十八省を數し。北より南へ海岸に添
 ふた。部は直隸。山東。江蘇。浙江。福建。廣東。あり又
 中部は山西。陝西。河南。安徽。江西。湖南。貴州。廣西。ふ
 り其西部は甘肅。四川。雲南。あり此十八省を合せ
 て之を日本三十六丁の壹里四方一坪に割り二
 十八万五千四百坪あり凡そ日本の十双倍あり

と云ふ此外は又北に魯西。西に遼東。東に朝鮮。南に
 蒙古。遼東。の國々。西に烏魯木齊。伊犁。ソングリ
 ヤ天山。南北戈壁の地方。葉爾羌。カスガル。前藏後
 藏の諸國。東に臺灣の島々。不及其管轄内の
 地あり。猶此外は又暹羅。安南。朝鮮等の屬國あり
 其南方は低く國の中央より東南へ高山。多し。平
 地多く。地味も宜く。米。穀。茶。生糸。綿。其外産物多し
 西南は山嶽連あり。聳へ其間。大小の湖川あり
 て水掛り。餘り依り水田多くして。稻を種る者
 最も多しと云へり

十八省 直隸北沽堡 禮部禮部 刑部刑部 工部工部 等の諸部
 ○直隸といへ吏部吏部 戸部戸部 禮部禮部 刑部刑部 工部工部 等の諸部
 直ち小隸小隸 せりの義義 小して隸隸 へ賤賤 稱稱 して其下
 知知 小屬小屬 一着一着 せり故故 小京畿京畿 を指指 して直隸直隸 と呼
 ぶ此稱此稱 古くハ南京畿南京畿 内内 小あり抑直隸直隸 省省 ハ北
 京京 の西南西南 小方方 里里 總督保定府保定府 小京師京師 小至至 三
 百三十里三百三十里 但支那支那 總轄總轄 する所十府七廳十二州八
 十七縣人口三百四十萬零二千人該地北東ハ威
 京界京界 小至至 北ハ内蒙内蒙 古小接接 一西ハ山西山西 界南ハ
 山東界東南ハ海海 小達達 せり且山東山東 の北北 小續續 き朝

鮮鮮 と支那支那 の入海入海 を經經 て直直 ち小天津天津 河口河口 小接接 せ
 るを以以 て大大 小運載運載 の便利便利 一且天津天津 一リ北京
 へ日本道程三十里餘三十里餘 此間北河北河 と云へり川
 りて小舟小舟 を通通 せ總總 て其寒地寒地 小を以以 て秋十月
 一を春三四月頃三四月頃 小海船海船 の往來往來 稀稀 あり保定府
 の下承德永平河間天津正定順德廣平宣化大名
 等の九府あり
 此北河北河 の口唇口唇 小巨大巨大 の壑壑 あり建築建築 の位置
 小河口河口 小上凡上凡 小六七里六七里 英英 の間河間河 の兩側兩側 小
 浴浴 小沙地沙地 小在在 て河河 の流流 きハ極極 めて迂迂 回回 一大小

約一里英の間ハタンコーより殆んど正南ニ
流更ニ又一里英間ハ前岸ニある大沽村ニ
傍めて東ニ流キ此地より直ニ北ニ向ヒ一里
半の間北ニ流れ遂ニ南東ニ折レ海ニ入り
而テローヴェルノルスフォルド名ハ海より大
凡そ一里英を隔テ一地即チ河水の南東ニ向
ヒ流過キ所ニ在テアツペルノルスフォル
ド名ハ同處ニ於テ一層上流の地ニ在リ而テ
又此堡塔ニ對シアツペルモストサウスフォ
ルドあり河の全流ニ臨ミ又漸ニ下テ其南岸

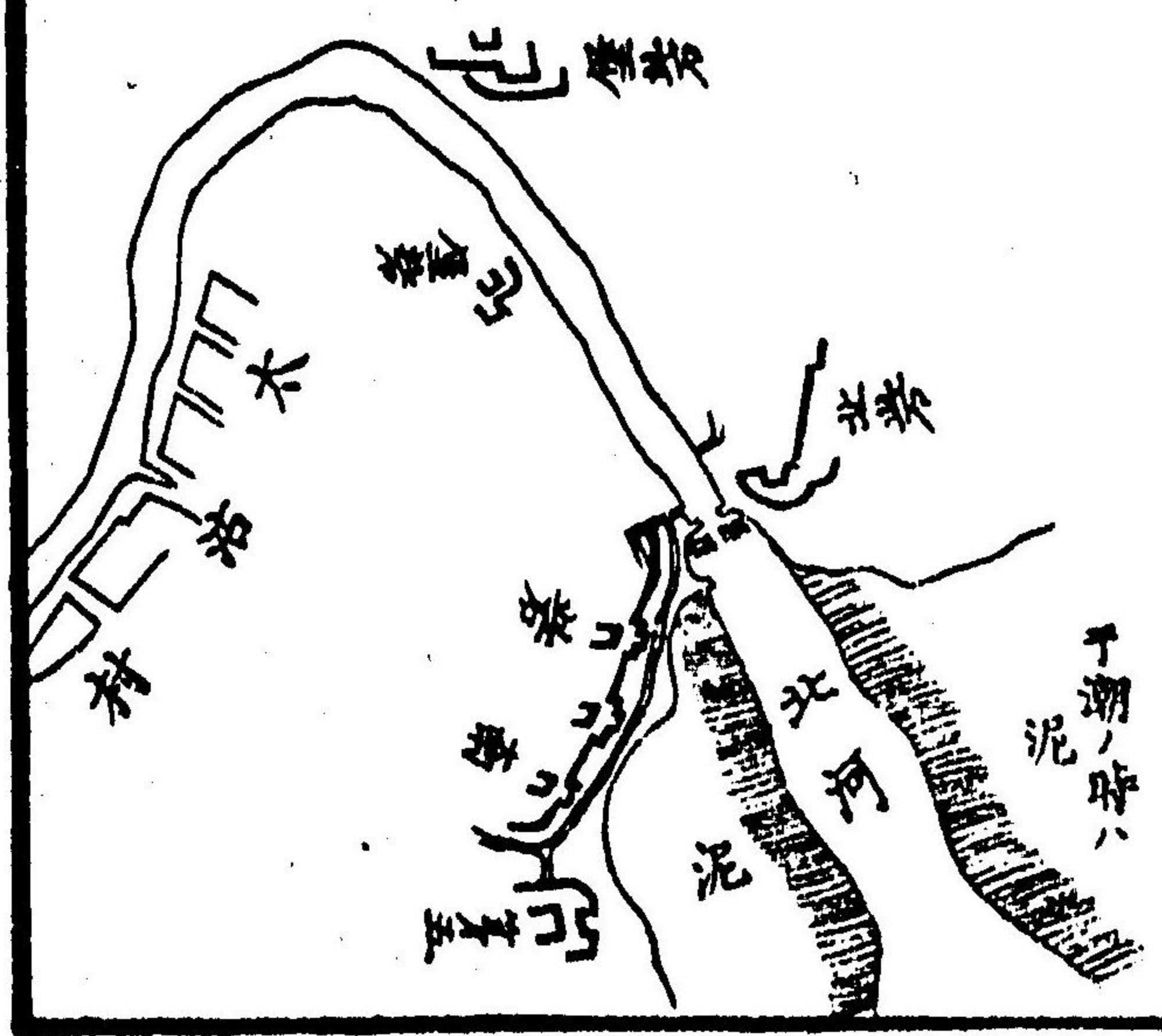
巨大堅固の堡塔あり該所ハ千八百五十九
年英國アドミラル官ホリブ名ある者僅々
の兵を以テ清軍と交戦シ大いに剛勇の英兵
を損傷セシグレートサウスフォルト名堡
テ此下流ニ當リ海濱を去リ遠クハ又第五
の堡塔あり以テ其終りと以テ此諸堡塔
建築の造方ハ皆同一の式を用ヒ其海を前面
ニ受ケル處ハ多くの兵器を備ヘテ其外
柵と共に堅固の堡壁あり且各砲の前面ニハ
陰厰と共に陰砲臺を設ケ又アツペルノルス

フォールド名堡及び第五フォールドマハ各高臺一
 箇所第二フォールドマハ二箇所グレートサ
 スルンフォールド名堡マハ三箇所ありて各口徑
 の大ある砲を備へ其後面も砲を置き且牆
 壁の類を以て圍繞せし切斷壁を築き以て其
 後衛とす且高臺ハ平地上に直立する大凡三
 十フット一尺四寸九我其頂に達する斜
 面路を用ひ又各堡塔の壁ハ皆巨大の材木を
 用む之を編む或ハ麻を以て或ハ藁繩を
 以て塗る泥を用申又外柵に在る陰砲

臺側の屯營外ハ泥藁及び木材を以て造りた
 る屋頂の半圓形あり舎あり此舎ハ屯營に接
 せど最も清潔あり又其銃丸ハ種類極めて多
 く其中ハ火薬を籠め奇工せし引火管を用む
 結合しうる破烈丸の類多く且レンガル太砲
 ナル火繩砲弓箭弩弓鎗棒の類又種々木製の
 棒あり皆長サ一尺直径六インチナ
 小して上より下に至るまで周く長針を以て
 包匝是は機撃兵に投擲するの設けたる可
 又各堡塔に通ずる道ハ二重三重の溝と木柵

を以て防禦の備へ其
 溝柵の中間空處のハ
 皆鉄の四尖脚を散布
 以て行歩の難う
 一め且其木柵と厚高
 互に相異なる凡一フ
 トトリ三フレストハ至
 り幅ハ大凡十五フ
 トハ一其溝柵外ハ
 尖頭なる樹枝を横列

大沽砲臺の圖



一以て遮蔽す所謂支那大沽の堡砦と有
 名の砲臺則ち之あり
 大沽村の其地平坦ハ河口通舟の水路を
 認め難しと雖其碇泊場内外二箇あり此近傍
 小二村落あり東沽西沽と云此邊の沙灘を稱
 して欄江沙と云ハ潮の模様ハ因う流船此欄
 江沙外ハ投錨ハ満潮を俟て越甲ることあり
 然も其久しく滞泊するハ罕あり秋末ハ至
 べ時ハ河水落て吃水七尺以上の船ハ天津ハ
 至る能うざることあり河水及び灣の北濱ハ

大抵十二月九日より結氷を故十一月下旬より來船少る三月十日を解氷の常期と以て大沽より天津に至る里程の概算ハ水路六十
七里英陸路四十里英ハ水流曲折を以て如此の差あり天津に登る水路の最も通過
難き所ハ同府より下流凡そ二十里英ハ在り北河に登る船舶多ク此に至りて淺瀬に
乗ざるごとく毎回これあり但し其報天津に達せられバ通例同府より小舟下り來りて旅客を
乗せ去る故ハ久しく滯船の患ハ多し

大沽と天津との半途ハ葛沽と稱する繁花の邑あり此地南方諸省の唐船輻湊の地にして七月下旬より十月中旬まで帆船林立ハ黄河及び鎮江府より天津に至る運河の未だ損せざりし片ハ南方諸省の穀船内地より天津府に來行せしが近來運河所々毀損せしを以て南方の穀類盡し海路より北河を登來せり然し其天津の繁華を致すものハ尚此運河ありハ因きり恐るハ上海廣東其他支那内地水運の便を古より天津の右に出る者少し然

きども六月頃までハ運河水涸きて小舟ハ非
ずバ通ずるハ難ハずハ共黄河水増ハ西
藏解氷の水来りて運河ハ入るハ流ハ頗
ル増加ハ七月ハ至レバ大船も速ク内地ハ入
ルことを得ルアリ

天津ハ北京ノ東南三十三里ハ北河ノ河口ハ倚リ
流ル沿ヒテ済ルこと二十七里ハ共ニ程其南岸ハ
在ル川港あり氣候ハ寒暑共ハ甚シク夏時ハ寒
温儀百六度ハ達スルこと有リ冬月ハ河水常ハ
堅氷ヲ結ビ二月ハ至リ猶消セズ現冷人口四十

万ありて繁盛あり都會
ありとも市街概略汗穢
あり所多シ該港ハ西洋

紀元千八百六十年より
英國と通商の爲之を開
キ次第ハ各國の商船輻
輳花と雖貿易甚盛大
小至ラレ該地外國人の
居留者も抄々ハ其地
を紫竹林と云ふ然共

天津の圖



民心頑固にして外客を待遇の意疎く前小佛國
 人を屠殺の事故あり其略ハ率テ該府ハ一州
 六縣を領せら其總督府にして運河と北河と合
 するの所あり人民過半ハ城内に住し外郭あり
 共ニ人家稠密あり府の周圍ハ方形の城壁あり
 其睥睨四家形にして四隅ハ櫓あり一面の長サ
 一里四分の三にして周圍三里共ニ英餘あり城
 壁ハ市中の悪水を流すを以て炎暑の節穢氣蒸
 發し甚ど健康ハ害あり市人の傳染病ハ罹りて
 死者多きハ蓋し之ハ感ぜざるも人乎又痘

瘡の爲し死者多し近來種痘の法大ニ行
 のま牛痘を施す者日々多しと云
 洋人居留地紫竹林ハ城下より凡二里其の南
 岸ハあり英人居留地の界ト下流六町許の
 所ハ當り兩岸ハ堅固あり土の砲臺あり内ハ
 支那海關官吏の家あり又府城より凡二里英
 許の周圍ハ圓形の胸壁あり洋人呼んで林必支
 名失策壁と稱し又天津より北京に至る凡三
 十三里通例通州より舟行して後ハ車馬を以
 て以通州より北京までハ十三里本里數あり

三十五

客舟大小ありて一人乃至四人を乗以朔流の
舟の大小ありて舟金七圓より九圓に至る
急流あり増益を乞ふ舟行ハ三月下旬始
り十二月上旬終る五六七八の四箇月ハ暑
氣強くして更ふ衣を要せども九月初旬小
至まば夜風寒冷ありと且北京に至る馬車あ
り定價一日匹馬一輛一圓二馬一輛二圓とい
又天津より北京に至る陸あり天津を渡り
てヤンツン小達しホウシツ小着し而してチ
ヤンキヤーワン地名ニ小着此地ハ英支の古戦

場ふいて運河上ハ架せざる板橋ハ即ち皇城
英軍の進入をも防禦せんとして機兵苦戦
て終ふ大敗を取し處あり
北京ハ順天府不在り現今國帝の都城ふいて西
經二十三度十六分北緯三十九度五十四分氣候
ハ夏月暑氣烈しく又八月より冬月小至りてハ
河水堅氷を結ぶ人口繁盛を世小稱するも現今
一百万不足らんと云諸書ニ一八二五
万トス然レ共即今實況確非該城之を分つて二
部ト為テ其詳細ヲ得タリ南部北部ハ即ち鞏
部ト為テ其詳細ヲ得タリ南部北部ハ即ち鞏

より
おいて本城あり南部の元城外あり一が近時之
小塙壁を繞らし之を支那城と云ふ其本部と稱
匠韃靼城の塙壁の高サ平均五丈北面六丈餘
不及ぶ所あり厚サ平均四丈許り或ハ五丈七丈
あり所あり又薄くして二丈二尺あり所あり壁
の外ハ直垂一内面ハ傾斜に壁の前後ハ胸壁
あり前ハ銃眼砲窓ナリありて睥睨四字形を
成せ五十乃至六十ヤルド毎ハ大壁脚あり城門
の左右外面ハ石を以て造り他の皆大なる磚塊
おいて其堅牢あること石の如く中身ハコンク

レート土石ノ煉りと固く凝る土を以て高
サ十尺許りつて交ハ重積して壁上ハ花崗石
を敷く南の廓ハ城門三箇あり此郭を分て尚
二部と為に城外の廓ハ甚ど狭少にして其近地
の人家も亦甚ど稠密あり此二部の本街ハ殊
小開豁にして東西ハ通し南北ハ達せと雖支街
裏坊ハ狹隘にして委蛇彎曲あり概シ市街ハ平
坦あり人馬走馳車轍縱横晴天塵埃を飛一雨
降泥濘深く行人の進退幾と窮まる小到る本城
の内ハ二壁ありて三重と云ふ中央ハ皇居あり次

支那事情 卷之上 三

宮廷其他官省あり此二箇を総稱して皇城と云此城外又一地あり即ち御用地あり昔鞑靼城俗ニダツタハ獨り鞑靼種のと之不居り今ハ稍々他族も之不居きり分ちて四部と云蒙古滿州支那回々教徒是あり各部不巡查あり遷官と稱ハ各其部中を守るを職と云而して滿人の若其官職を奉して通ることある時ハ巡查直不鞭を携へ其處不至り人民の不敬を制しと云ム鞑靼部の家屋ハ多クハ私家にして本街拂比多クハ皆商家あり然き共市街の最も

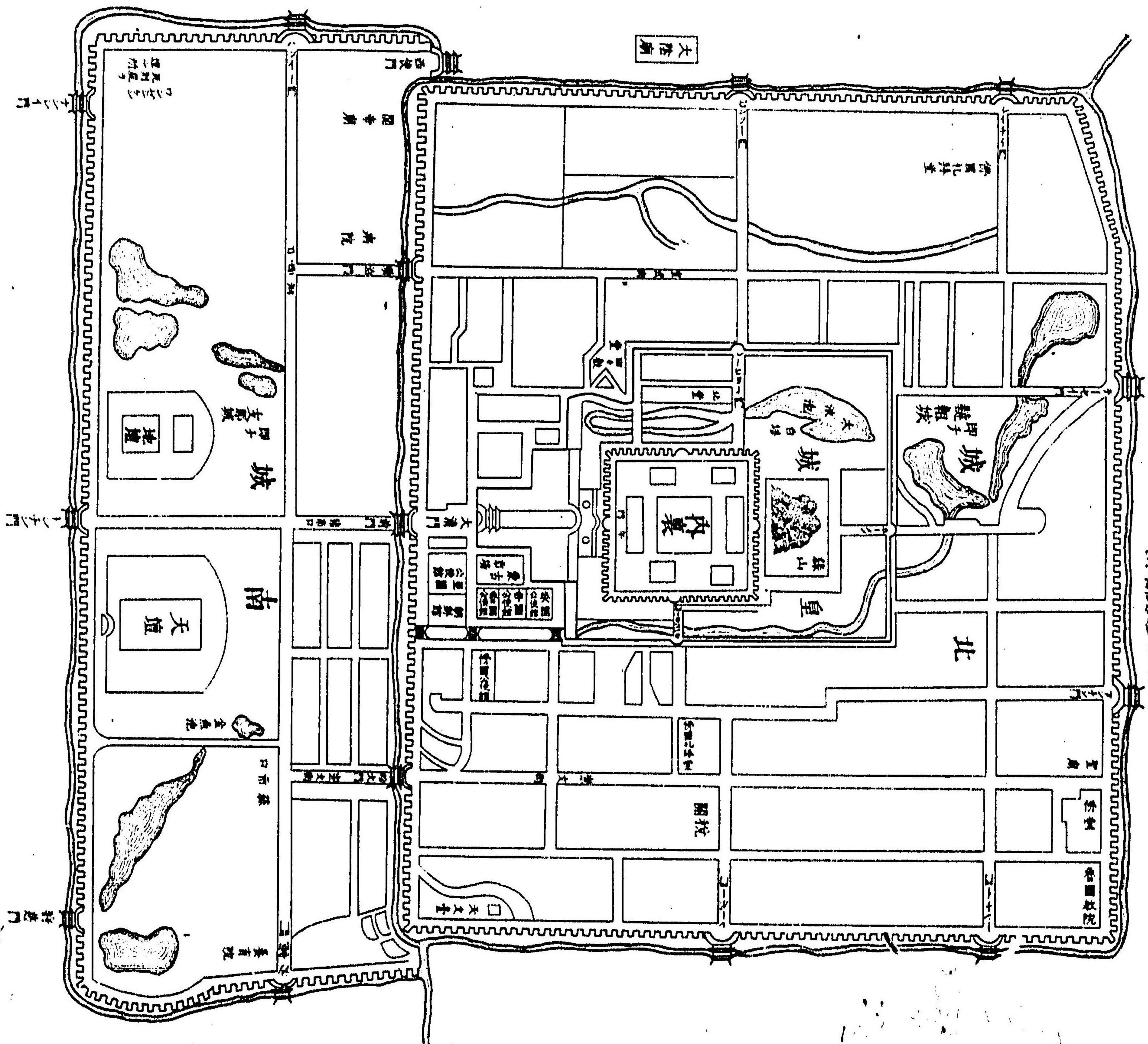
開熱あり者ハ支那都不在り而して官員諸賢の此不至りて骨董を買ふ幾ど歴日あり是より中夾あり南門の前門不帝宮の大門ありて一條の石道此門の下不流き支那城を別り所の廣き中道不至り道の左右ハ盡く商店不て土人群集此門より約一里半と里南不至まバ人家漸く密あり往來の人亦漸く少き不至れり○支那城の中央南門ハ今尚歴然として存り此道路の左右不最大あり塩垣の圍り地あり即ち左祭天壇不して右ハ祭地壇あり此地古來天子と

大臣の外曾て到ることを得ざりしと云ふ又孔子の廟ハ二層樓ありて最も華美を盡せり支那城第三門の邊り小天主教の舊堂あり先不城内不於此教を行ふことを禁せらるるなり永く此堂ハ風雨の壞蝕不屬一堂上十字架の如きも已不散失して其在る所を知らざりし近時佛蘭西人の助力を得て於此修繕一新十字架を作り之を堂上不安置せりと云○支那鞞韃兩城の環ひ墻畔不魯西亞使節の旅館あり其地都一城ノ門口不一個の哈薩克番兵あり○城の

東北外大凡二里ノ英の所不長き堡障あり高サ三十尺不して城墻と相平行し往々開鑿の處ありて大道をして之不通せしむ今此上功を見り不野草蔓生し始めて之を見り時ハ實不自然の者不して人工のり不非ざる不似たり然も其古老の説を聞く不往古嘗て蒙古部の鞞韃中華不侵入せし時奉軍之を防がん為不一野營を築たり其堡障即ち是ありと又京城より北方不通る所の一道路あり直不萬里の長城不達す此地長城を去ること大凡四十里ノ英ありと○京城外に

個の城門の北の方で鞆粗人の操兵場あり甚
廣大ふして約二里、英四方あり此場の外邊に
喇嘛教の禮拜堂數屋あり堂々相連接し頗る壯
麗あり喇嘛堂の最も蒼華なる所は乃ち京城の
外ふして各社嚴あり凡そ支那國奉むる所三教
の堂塔と雖此堂宇の華嚴ありふい實に三舍を
避可しと抑支那ありて此教ふ力を盡し殿堂を壯
麗しして而て京城近郊に於て此教を修むるを
尤むるものハ蓋し西藏國を愈々固く版圖に入
りんとする諸帝の策あり可し

北京城之圖



北京城内ハ人民繁行すること極て盛んあり
と雖も貧困の徒最も夥し其窮迫太どき者
ハ愍然として目視す不忍びざる者あり冬月
酷寒の時不至てハ夜間相聚り互ハ重疊一或
ハ終夜篝火を焼て其互死を防ぐ惟其病夫老
婦ハ時として凍死も土人其屍を取りて橋下
堤側中ハ投入を然れども官吏之を詰問せむ
又乞食を殺害して弃つること頗る多し是
の如き悪風俗あるを以て病者殘廢者の如き
ハ皆道路不立て錢を往還の人ハ乞ふ又貧者

路傍を徘徊して食を他人に乞ふと其の
腹痛堪へ可くざる景状をふし或は手足残
廢して歩行屈伸ふまべうざる状をふし其
最も猶ある者の故に其女の眼目を損し其母
自ら之を搗へ哀愍の情を切ふして多錢を乞
ふ者あり又其愛子を官中へ賣んが為し男根
を剪り棄て之を閹官とふして其身の榮を謀
る者あり又州内貧者其子を養育せしこと能
く其穉子を道路へ棄つる者あり北京の如
きは一年捨つる所の兒數大約九千人に下ら

此之を一歳中ふ比例すれば毎日二十四人ふ
下り申間々政廳より人夫を出し車を引て市
街上を往還し死兒又ハ半死の者を救め其屍
を他の濕陰地へ棄る然れども此州初めて國
を建ると其の制度の極めて貧賈敦厚ありと
見へて上の皇帝貴族より下の萬民奴隸に至
るまで其親の孝養を盡し長者を尊仰するこ
と他州に多く看ぎたる所ありと
北京城内に於てハ輜輿を見るごとく甚だ罕あり
多くハ皆彈機あき小車を用ひ是貴權の人の乘

所あり而して道路平くあり且ツ彈機のみ
きを以て車中駝兀として頭を擧りこと常あり
又私家不用申る所の者の車内を扱の如く造り
車前帳帷を下り○天子京城市街を通行する時
ハ市民の敬拜を受る勿論あり而して高位の人
ハ一二の騎者と車の御者とを率りて通行せし
雖賤民不至りてハ僅小轆車を使ふのこ此轆車
ハ人の両手を以て轉せり但し其狀大ありを以
て荷物を積むこと亦大あり而して此車或ハ旅
客を載せると云○北京城の人ハ好みて能く馬

小騎る甚しく南部の人の短小あり不似を又好
く驪馬小乗る○此地駱駝を用申るこ殊多
しとす頭小馬鈴を着け其緩々歩せり不随つて
鈴音の響を送る而して其手綱の長きこと外國
人之を看て驚るざるものふし背上兩降の間小
駝鞍を置き腹部ハ二條の腹帯を帯し鼻の頭
小一環を貫き之ハ一條の索を着け以て牽かる
あり○土地ハ豊饒小して食料諸品を生ずる
こと多し又此地小於てハ南方小比多きバ肉を
食する者甚ど多し而して豊肌新鮮ある羊股肉

店小懸りポロンド百二十一毎小價僅小ニペン
 ス半ありあり但し牛ハ人の勞を助るを以て
 順天府内小之を屠るを禁したる舊法あり然き
 ど近郊小出さば更小此法あり牛肉の價ホ
 ド毎小ニハンスあり○石炭ハサンキヤン
 山小産此山ハ北京を距ること三十マイルの
 所小在且駱駝小負りて之を都下小送ると云
 ○窓戸小用申る硝子板及ヒ總て玻璃製の器物
 ハ廣東より輸入凡窓戸小硝子板を用申る者
 ハ南方より多き共只富家のとあり○家屋建

築小用申る木材ハ多く
 松樹小して之を産する
 森林も亦北京を距ること
 と遠くは又此森林小北
 京
 木炭を製すること夥
 多あり家具小用可き
 良材ハ南支那及ヒ海峽
 野の田土ハ縦横溝塹を
 穿ちて境界を分ち海濱

北京の図



の粘土膏腴ありて豊饒あり故不久しく耕作せざる地を見ること稀あり○人民は南方より北をき比較は貧しく衣服穢く村里都府の人烟稠密ありて土人水を好まざる共風土の清涼ありを以て皆健康あり多く流行する病は熱病あり又時小暴瀉病及び痘瘡行り○教育の行りきざらへ殊小甚しく推察する小田舎人二十人の内は必一人は辛く其姓名及び村名を記し得る者ありん歎

支那歴代の帝都を考ふ伏羲は陳則ち今の河南

陳州府あり神農の同地或は曲阜則ち今の山東兗州府あり黄帝は涿鹿今直隸涿州あり少昊は曲阜上顓頊は帝丘今の山東曹州府の濮州是あり帝嚳は亳今の河南河北府の偃師縣あり唐堯は平陽今の山西平陽府あり虞舜は蒲阪今山西蒲州府之あり夏は安邑今山西平陽府あり商は亳上周は豊鎬今の陝西の西安府あり東周は洛邑今の河南の河内府あり秦は咸陽今陝西西安府あり漢は洛陽後小長安今移す洛陽今の河南の河南府ありて

長安ハ河北ハあり又東漢ハ洛陽三國の魏ハ
 鄴則今の河南彰德府の臨漳縣後洛の地ハ
 移り吳ハ建業今の江南江寧府あり初ハ湖
 北の武昌府を都と蜀ハ成都即ち四川の成都
 あり西晋ハ洛陽東晋ハ建業又宋齊梁陳の四
 朝ハ俱ハ建業ハ都也隋ハ長安ハ建て後ハ洛
 陽ハ移り唐ハ長安ハ建て宋ハ汴ハ建て元ハ今
 の河南開封府あり南京ハ浙江ハ移り遼金元明
 ハ均ハ今の京師順天府ハ一ハ遼ハ折津府
 と云ひ金ハ大興府と改め元ハ大都路と稱

一明ハ順天府と大明初の都ハ南京應天府
 不立リ今の江南江寧府之あり清朝も又都を
 順天府ハ定む今の京師ハ復明の代の北京あり
 ○山東西ハ北京河南ハ至り南ハ南京ハ抵り東
 北ハ皆海ハ臨り所屬大小の城地凡一百あり
 其府城を濟南と云其餘泰安武定兗州沂州曹州
 東昌青州登州萊州都て十府十二州九十六縣濟
 南ハ京師を去ること八百里此地三方海ハ臨り
 多くの物産ありて頗る豊饒の地と稱す
 ○江蘇ハ山東の南ハあり西ハ河南界ハ至り西

南安徽界東南浙江界東ハ海小至る總督江蘇府
 ハ京師を去る二千四百四十五里其下蘇州松江
 常州鎮江淮安揚州徐州總て八府三廳二州五十
 三縣直隸三州八縣ふして人口二千八百八十五
 萬三千七百九十八人往古ハ江南と云へり
 省口世界有名の二大河あり一ハ黄河其水源
 青海より發し内蒙古小入り長城を凌ぎて陝
 西山西の界間を經河南小出で江蘇小流れ而
 して黄海小注ぐ其長さ日本里數一千六十餘
 里一ハ洋子江其水源崑崙山より起り雲南四

川を經て湖北湖南江西小至り安徽の中心を
 貫き江蘇小出て黄海小下流其長さ一千三
 百十四里亞細亞洲中第一の大川あり又全國
 中多く溝渠を穿闕して運輸を利す其中大
 者運河と名く天津より平湖小達し長さ二
 百六十餘里ふして其間黄河と揚子江とを貫
 流其土功往古隋代の帝業小成り又其北部
 ハ元代小於て之を増築せりと云
 南京ハ支那の舊都ふして目今江蘇省の中
 あり然も北京小對するの大都會ふして揚子

江の南洋小瀕一其江口より日本里程九十四
里の處あり北緯三十二度二分西經二十度
五十一分外廓の高さ四丈廻り小十五の城門
を備へ其周圍七八里あり人口百万或は現今
三十餘万と云ふ人家ハ丘陵小瀕り造營せり
該地近年長髮賊の兵乱小瀕り廓内殆んど衰
微まると雖貿易繁盛一街路清潔佳民の市店殊
小多し
鎮江と扬子江の河流ニあり河港小して南京
を去る二十五里の所あり最も江中咽喉の

地とす因て堅固なる城郭ありて江中出入の
諸船并小荷物等を検査し輸出入貨物の税銀
を取聚る役所ありて上海より日程百十四里
餘人口十三萬あり該地安徽江西湖南湖北四
川等小至る商船必由此所を経過して内地小
達す亦上海より九江漢口小往來する郵船碇
泊所とす
上海も又同省の中ふして松江の西岸南京の
東南七十餘里日本小あり人口五十萬小下ら
ず現今支那貿易場の第一小して支那人ハ滬

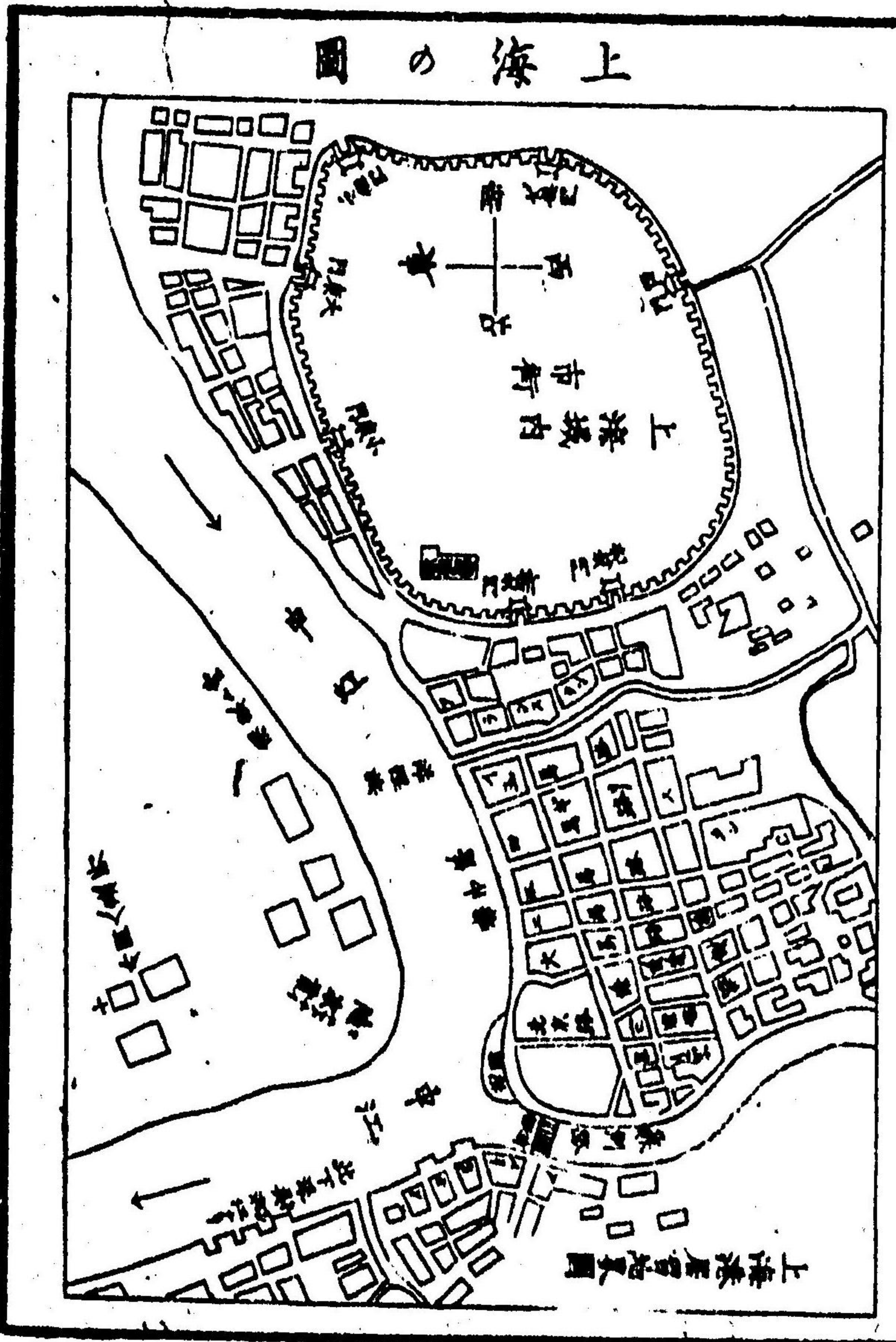
城或ハ上洋埠トシヨ我長崎ヨリ日本凡七二
百廿五里横濱ヨリ凡そ六百里氣候ハ夏月百
度以上の暑氣小至り冬月も亦寒氣甚一開港
の始ハ外國居留の人僅ハ小廿餘人商家十一
軒外國船の入港一年四十餘艘リリ一ハ内地
交易の便利トシキナリ近年頗ハ繁盛小至り平
日碇泊の外國船二百餘艘内地の商船數千艘
輻湊一ト萬櫛林立一其繁昌實小目を驚ハ在
小至る故ハ内地各處の産貨雲集一ト萬物備さ
ルナク外國の貨物も亦多クハ此地小運輸一

て内地小轉送を因テ各港往來の汽船郵船等
の晝夜出入せざる事トハ一縣城ハ申江の西
岸小何リテ周圍三里郭門七ツ城内ハ種々の
雜貨店相接一雜沓甚一ト頗ハ繁華の風向也
街衢狹隘小一ト煩熱堪難一殊ハ他の小
街ハ臭穢甚一ト徑過モ小堪ざる所多一ト外
國人居留地ハ縣城東北の郭外ヨリ申江小沿
ハ吳淞江小界す之ハ佛蘭西街英吉利街亞墨
利加街トシヨ西洋商人の家屋四百軒土人の
商家一萬二千軒最繁盛の地ハ佛蘭西街英吉

利街の河岸を以て眼目とす居留地ハ都て清
 潔ホ一て城内の如く真穢あることホく晝夜
 巡邏の兵何りて非常を警め街頭屢々ホ尾斯
 燈何りて腊夜も白日の如く夜行燈火を用日
 ることホ一○亦新大橋の南畔ホ遊覧所何り
 て宏壯秀麗凡百の花卉を殖て芬芳榮を競ひ
 四時聯綿と一盛夏爰ホ遊歩すれハ清氣肌を
 襲ひ恰も炎蒸を忘之嚴冬も亦青春の天ホ遊
 ぶの思ひをりせり○亦各國領事館十四ヶ所何
 り日本魯英佛亞普奧以西連葡蘭北瑞那等ナ

上海ヨリ鎮江マテ 餘百十四里 船賃洋銀五弗三三三
 同 南京マテ 百三十九里 餘 六弗九三三
 同 九江マテ 二百八十里 餘 十五弗二
 同 漢口マテ 三百七十里 餘 二十弗
 右ハ上等の價目ホ一て下業此半減ナリ
 港内の屢置の都て支那の吏員と各國の領事
 集議して之を決すとのふ

上海の地図



○浙江の北江蘇界に至り南福建界西南江西界
 西北安徽界東の海に至り巡撫杭州府の下嘉興
 湖州寧波紹興台州金華衢州嚴州温州處州等郡
 十一府一廳一州七十六縣杭州府の京師を去
 る三千二百里人口一千八百九十七萬五千人
 寧波の鎮海縣の河流を流ること五里の處に
 して上海の南六十里あり唐の世に明州と
 號し安倍の仲磨天の原の詠歌ありと此處也
 長崎より二百九十六里人口十一萬五千市街
 華麗にして寺院高塔も亦見る可き者なり

布の製造盛なりて其他の産物も亦少うは
杭州地方の蠶糸此地に輸出する屢の價銀九
一ヶ年四十万弗に下らざるとりて因て洋船の
出入多く上海より郵船二艘朝夕必往來を
上海郵船の貨銀上等三弗下等二弗
此地富商最も多く巨船大船を有し内地其他
印度の貿易を設け往時番家五十餘家あり
が長毛織亂後衰へて僅う三十餘家を存と云
總て直隸山東江蘇浙江等沿海の諸省に漁鹽
の利不富之又茶米綿五穀其他の物産極めて

多く内河ハ黄河扬子江運河の便ありて各省
の載運不供し外ハ東海を繞りて天津牛
莊上海寧波の通商埠頭あり其自國船出入
港口多く内外の商賈之に依りて輻輳せり
○福建ハ東北浙江界に至り西北江西界西南廣
東界東南海に至り閩浙總督福建巡撫俱に福州
府を治む其下泉州建寧延平汀州興化邵武漳州
福寧臺灣凡十府五十八縣直隸二州四縣福州府
ハ京師を去り四十八百四十五里該省人口二百
三十一萬二千人閩江ハ福州府の北岸に沿り専

内地の運輸不利也又南岸に傍る臺灣の對岸
 不廈門港あり島の大半を周回十里島上則ち府亦
 り港口又別小島あり之を擁蔽して碇泊不便
 香港を距る大凡百二十餘里土地清潔あれど
 も瘠土にして食料の蔬多くハ臺灣に仰ぐ人口
 二十七万貿易盛なり多く支那人所屬の本國船
 を以て諸方へ運輸を其大なる者八百噸に至る
 大凡支那人商家の巨豪なる者此地に多く自ら
 許多の本國船を有して百貨を四方へ運輸し印
 度及び東洋諸島へ往來する者あり市街華麗な

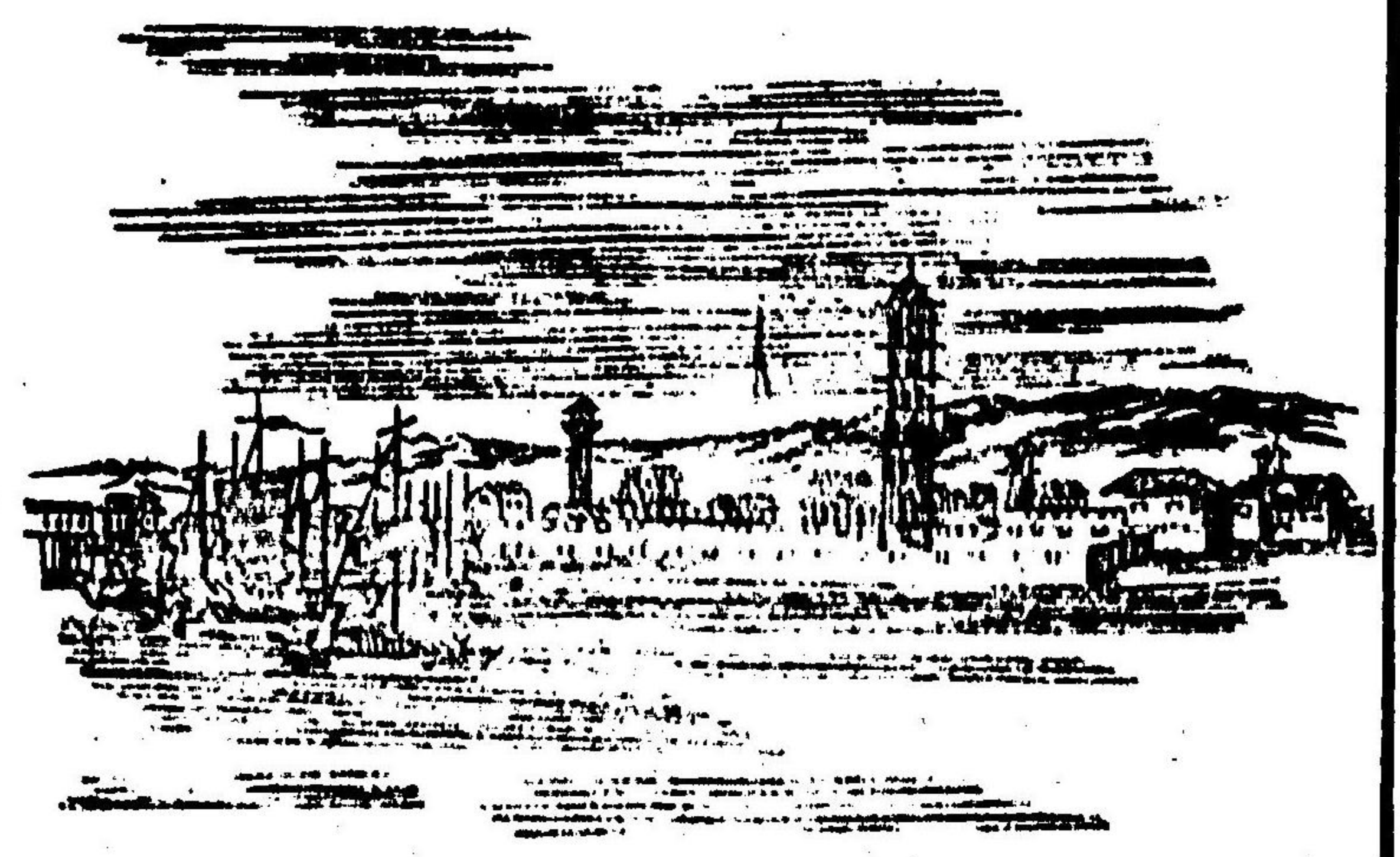
りと雖も富豪なる國人の巨屋多く邸第園地
 儘見り可き者あり

臺灣ハ二百十四年前鄭成功の據守せし處
 して福建の東南岸にあり海峡を隔る日本道
 四十餘里に過ぎず其長サ九十八里幅三十餘
 里山脈南北に亘り全島を中分す其西部ハ支
 那に屬し東部ハ土人に屬して村屢々小落を
 成し風俗甚だ卑陋なり故に西部を熟蕃と稱
 し東部を生蕃と稱し全島人口二百萬餘其中
 支那人五万に過ぎず氣候暖熱にして草木繁

茂一果物穀類樟腦等を産す
 ○廣凍ハ北江西湖南界ハ至リ東北福建界西ハ
 廣西界より南海小至リ兩廣總督巡撫廣州府を
 治む其下部州南雄惠州潮州肇慶高州廉州雷州
 瓊州凡十府七州二廳七十二縣直隸州三直隸廳
 二八縣其廣州府ハ京師を去る四百九十四里総
 く人口三百六十萬零四千人又海南州亞瑪港の
 二島あり土地極めて豊饒小して物産康阜殊小
 未穀砂糖及び絹帛を出産こと世小名あり廣州
 府ハ珠江小瀕一と其江口の北三十餘里小あり

北緯二十三度氣候温暖
 小して霜雪稀あり夏月
 ハ寒温儀大略八十度小
 降り六七月の候或ハ
 九十度より百度小至る東
 人口大凡百万零二三千
 其中大略四分の一ハ舟
 を以て家とす都府ハ珠
 江の北岸小傍く市街丘
 陵小連り東北ハ山嶽兀

廣東の東部の圖



突として景況頗る佳あり市街北部を舊地とし南部を新地とせ人家多し倭屋ありて街衢六百を數ふ此兩部を圍む外郭の高き二丈より四丈に至り大砲を備へ十二の城門あり夜ハ之を鎖して出入を禁じ市中貧家少からず冬ハ日ハ失火して焼亡せり者多し市中溝渠多くて舟楫を通し石梁を架し其形状屈曲して奇異あり者あり又佳麗の肆店ありて多く書籍を賣る寺院百二十箇學校十四所あり別々三十の小學を設け府内製造の諸品多し就中絹帛を織る

ガ如き常日一萬七千の工人を使役す街上繁華ホして頗る雜沓を極む其出港品の眼目あり者茶生絹絹帛銀陶器砂糖其他藥品食料製造器具等あり

珠江ハ廣東河と號す船居の民頗る多く大小の船舶其數四万を下り各船皆一家をホし萬用備ふあり又小舟を編列して往來道路をホし百貨を賣る店あり此船居の人口幾ど三十萬水上に生れ水上に長し終身陸地を踏まざりて死する者幾萬なるを知りて云

此船居の風俗支那各地あり又後印度あり
 あり抑該江の幅廣くして底深く都府の前面
 千噸の船を泊す可し然き共入津の洋船ハ下
 流六里ワシホアと云ふ地ニ碇泊し支那の小
 船を以て貨物を運輸す河流の中島嶼多し處
 々ニ炮臺を築きて守衛を備ふ今を距る三十
 三年前鴉片の亂ニ英國の軍艦之を陥り其
 河口ニ傍りて香港及び澳門ニ達す景色殊
 變可し
 香港ハ廣東の河口ニ在る小島よりして長サ四

里餘幅三里ニ滿たむ
 全島岩石多し北岸ニ
 傍りて港あり港内廣深
 じして亞細亞第一の香
 碇船場とす府を維多港
 利亞と名し人口十二の
 萬五千大略支那人亦固
 り其四分の一ハ船居
 此地鴉片戦争の和
 議の後永く英領ニ歸



一英國より鎮臺を置いて之を管轄し常日數多
の軍艦を繋ぎ支那海警衛の要地とす我長崎
より海路大凡五百里餘

澳門ハ廣東の海岸より突出したる半島と相
接せり島上ニ府あり廣東府を距る二十九里
百十四年前より葡萄呀ニ屬し今ニ至り其管
轄ニ歸す人口五万あり迄世ニ至り貿易漸々
ニ繁盛あつた

瓊州島ハ廣東の海角と離る僅小七里東京
灣ニ在り大サ臺灣より差少あり氣候熱マ

て産物多ク又金礦有り内部ハ土人ニ屬して
各部落と為し海岸ハ支那の居民海賊を為す
者多ク風俗甚と惡し

○山西ハ東直隸界小至り南ハ河南界西ハ陝西
界北ハ察哈爾小至り巡撫太原府を治む其下平
陽蒲州潞安汾州澤州大同寧武朔平等凡九府二
廳六十三縣直隸十州二十六縣太原府ハ京師を
去る一千三百里總て人口一百九十二萬零一
百四十二人此地山高ク川細クして舟楫の便利
小

○陝西東ハ山西河南ハ界一西ハ甘肅界ハ至リ
南ハ四川界東南ハ湖北界西北ハ鞏鞏西蕃の諸
國ハ界一其地極めて廣大多ク巡撫ハ西安府を
治メ其下同州鳳翔漢中延安榆林興安等の統府
七あり七廳五十八縣直隸五州十五縣其西安府
ハ京師を去リ二千五百三十五里總て人口五十
八萬二千人府城壯麗小一て巨廣なりと雖山嶽
屢々小連聳一頗る僻陋小屬を以て運載の便
を要せバ故小人煙繁厥小至らんと云ふ
○河南ハ南湖北ハ界一東南安徽界ハ至リ北ハ

山西界東北直隸山東界東ハ江蘇界西ハ陝西界
小至リ巡撫開封府を治ム其下陳州歸德彰德衛
輝懷慶河南南陽汝寧等凡九府六州八十四縣直
隸四州十五縣開封府ハ京師を去リ一千五百四
十里人口二百六十一萬四千人土地甚と饒富小
一て物産殊小多一黄河ハ山東界より山西界小
横斷一交流縱緯一て舟楫小便あり
○安徽ハ東南浙江ハ界一西南江西界小至リ西
ハ湖北界東北ハ江蘇界西北ハ河南界小至リ巡
撫安慶府及び其下徽州寧國池州太平廬州鳳陽

穎州都て八府四州四十二縣直隸五州九縣其安
 慶府ハ京師を去る二千七百里人口凡一百十四
 萬八千零二十三人省の中心ハ巢湖あり支流諸
 省ハ通ト一ハ江蘇の洪澤湖ハ混入其内地山岳
 突出し就中湖北ハ隣りの地連山岷々として自
 界を為し洋子江の中流池州府ハ傍ハ河南湖
 北を經て烏口川ハ分流其土地巨大多クバと雖
 運載を要し物産頗る多し
 ○江西ハ東南福建ハ西南廣東界ハ至り東
 北安徽浙江ハ界ハ西北湖北界西ハ湖南界ハ至

巡撫南昌府及び其下饒州廣信南康九江建昌
 撫州臨江吉安瑞州袁州贛州南安總て十三府二
 廳一州七十三縣直隸一州二縣其南昌府ハ京師
 を去る三千二百四十五里人口凡六百十二萬七
 千四百二十五人北部鄱陽湖あり支流八達し
 て小舟を通じ福建廣東ハ至て稍く船舶を浮上
 せり
 九江ハ同省九江府德化縣ハ屬し揚子江を沂
 ること上海より二百八十三里日本大江の南
 岸ハあり港ハして往時ハ繁昌の都府なりし

長毛賊亂の爲に衰て即令人口四萬ふたり
亦近邦饒州の地の磁器の製造支那第一と
稱する處にして最精巧あり全國に用ゆる處
の磁器多く此地より出すと云

○湖南北の湖北を界し西北は四川に至り西は
貴州界西南廣西界東南は廣東界東は江西界
至る巡撫長沙府を治む其下岳州寶慶衡州常德
辰州沅州永州永順等總て九府三廳三州四十八
縣直隸四州十六縣其長沙府に京師を去る三千
五百八十五里人口湖北と合計して凡二千四百

亦三萬二千四百零八人北部は洞庭湖あり北は
岳州府を傍ひて大江を合し東南長沙府を下り
て汚水は混濁し分流して廣東江西不入る大湖
中舟楫恒に絶へば其周廻佛蘭西國里法にして
凡四百里ありと云ふ

○湖北は南湖南を界し東南江西に至り東は安
徽界北は河南西北は陝西を界し西南四川に至る
湖廣總督湖北巡撫俱に武昌府を治む其下漢陽
安陸襄陽鄖陽德安黃州荊州宜昌施南等總て十
府八州五十縣其武昌府に京師を去る三十一百

五十五里抑此地ハ往昔湖南と一体にして古名
湖廣と號し世ハ此地を稱して支那の穀庫と云
最ト豐饒の大地にして米穀綿花を産する事
甚許多あり

漢口ハ漢陽府ニ屬し往古夏口と稱へ一處
大江を折ること上海より三百七十四里揚
子江の西岸ニありて江中隨一の繁華風流の
地なり人口六十萬餘ありて茶葉蠶糸の産
地なり湖南四川陝西各地の咽喉にして内地
商船輻湊し最富饒の地なり此地海濱ニ遠

故ハ海産の貨物を尊び殊ニ日本の産貨を
貴重すとす○揚子江の中南京より以西ハ
都て山水秀媚なり此地の風景殊ニ勝れて
名勝處々ありて實ニ天下第一樓の名空
可ト比しり亦此地の江中ニ産する鯉魚を
楚鯉と稱し其長大ある七八尺より一丈餘
至リ且其味の美なる事遙シ海魚の上ニ出つ
○貴州西ハ雲南ニ界し北ハ四川界ニ至リ東ハ
湖南界南ハ廣西界ニ至リ巡撫貴陽府を治む
下。思州。思南。鎮遠。石阡。銅仁。黎平。安順。興義。南龍。都

白平越大定遠義等凡十四府十五州三十七縣十
七廳貴陽府ハ京師を去り四千七百四十里人口
總て二百零一萬八千人

○廣西ハ東南廣東ハ界東北ハ湖南界不至リ
北ハ貴州界西ハ雲南界西南ハ安南國界不至リ
巡撫ハ桂林府を治む其下柳州慶遠思恩泗城平
樂梧州潯州南寧太平鎮安等凡十一府十六州四
廳四十二縣直隸二州五縣其桂林府京師を去り
四千六百四十九里人口總て三百零八萬一十人
上地富饒ハ物産多く殊ニ米穀及び肉桂を

出產こと世々名あり人民極めて蕃盛ハ一て男
子諸の工技を志す者凡一百萬之を合せて二十
萬家と云所造の磁器甚と佳良あり

○甘肅ハ東南陝西及び四川ハ界東北ハ鄂爾
多斯阿拉善及び喀爾喀喀扎薩克圖汗部ハ至リ
西南青海迤西ハ至リ大戈壁と爲す則ち沙漠不
毛の地あり西北斜布多及び伊犁ハ至リ總督蘭
州府を治む其下平涼鞏昌慶陽寧化西寧涼州甘
州安西鎮西等凡十府七廳八州四十一縣直隸五
州十四縣其蘭州府京師を去り四千四里人口八

十四萬人黃河ハ長城以外より内蒙古に傍ひて
内部を横斷し土爾扈特旗の邊りを経て内地に
入る積石山の麓を繞りて了ふ鄂凌海に入る該
地黃河の外河流ありと雖皆細川にして舟楫の
便利に供まざる

○四川北ハ陝西甘肅界に至り東ハ湖北に界し
東南ハ湖南貴州に界し西南雲南に至り西ハ西
藏界に至る總督成都府を治め其下寧遠保寧順
慶叙州重慶夔州龍安潼川嘉定雅州綏定等凡十
二府十二廳十一州八十七縣直隸州八二十五縣

と成都府京師を去る四千七百十五里人口七
百八十一萬三千人此地西南高嶽相列し内部雪
山の山脈連亘し間々河流を通ずるも峽阻多く
地の廣大無比は人民の蕃殖頗あり然れ
共物産又富饒あり

○雲南北ハ四川界東ハ貴州廣西界に至り西北
ハ西藏界西ハ怒夷界西南ハ緬甸界南ハ安南界
に至る雲貴總督雲南巡撫其雲南府を治む該府
の下大理臨南楚雄澂江廣南廣西順寧曲靖姚安
鶴慶武安元江普洱永昌開化等總て二十一府九

廳三十一州三十五縣と云雲南府と云京師を去
 々五千八百九十五里人口三百二十萬零九千人
 此地甚々廣境にして印度部内と接し山岳連亘
 するの間河水縦横に流通し土地極く豊饒なり
 て多く金銀銅錫玉石夜光寶石等を産し府城雲
 南の地と又肥沃にして多く糖菓を出すと云へ
 り

現今支那事情卷之上了

多那事... 卷之上

廳三十一州三十五縣とて雲南府とて京師を去
 り五千八百九十五里人口三百二十萬零九千人
 此地甚と廣境にして印度部内の接し山岳連亘
 するの間河水縦横し流通し土地極く豊饒なり
 て多く金銀銅錫玉石夜光寶石等を産し府城雲
 南の地と肥沃にして多く糖果を出ると云へ

現今支那事情卷之上了

